

市の現状について

令和3年1月25日

菊池市 政策企画部 企画振興課
公益財団法人地方経済総合研究所

目次

市の現状について

1. 菊池市の人口動態

- 1-1 総人口と将来推計
- 1-2 年齢3区分別人口の推移と将来推計
- 1-3 人口ピラミッド
- 1-4 デジタルマップを活用した地域別分析
- 1-5 家族類型ごとの世帯数の推移
- 1-6 出生数・死亡数/転入数・転出数
- 1-7 自然増減・社会増減の推移
- 1-8 男女別人口・合計特殊出生率の推移
- 1-9 転入・転出の状況
- 1-10 年齢階級別の転入・転出状況

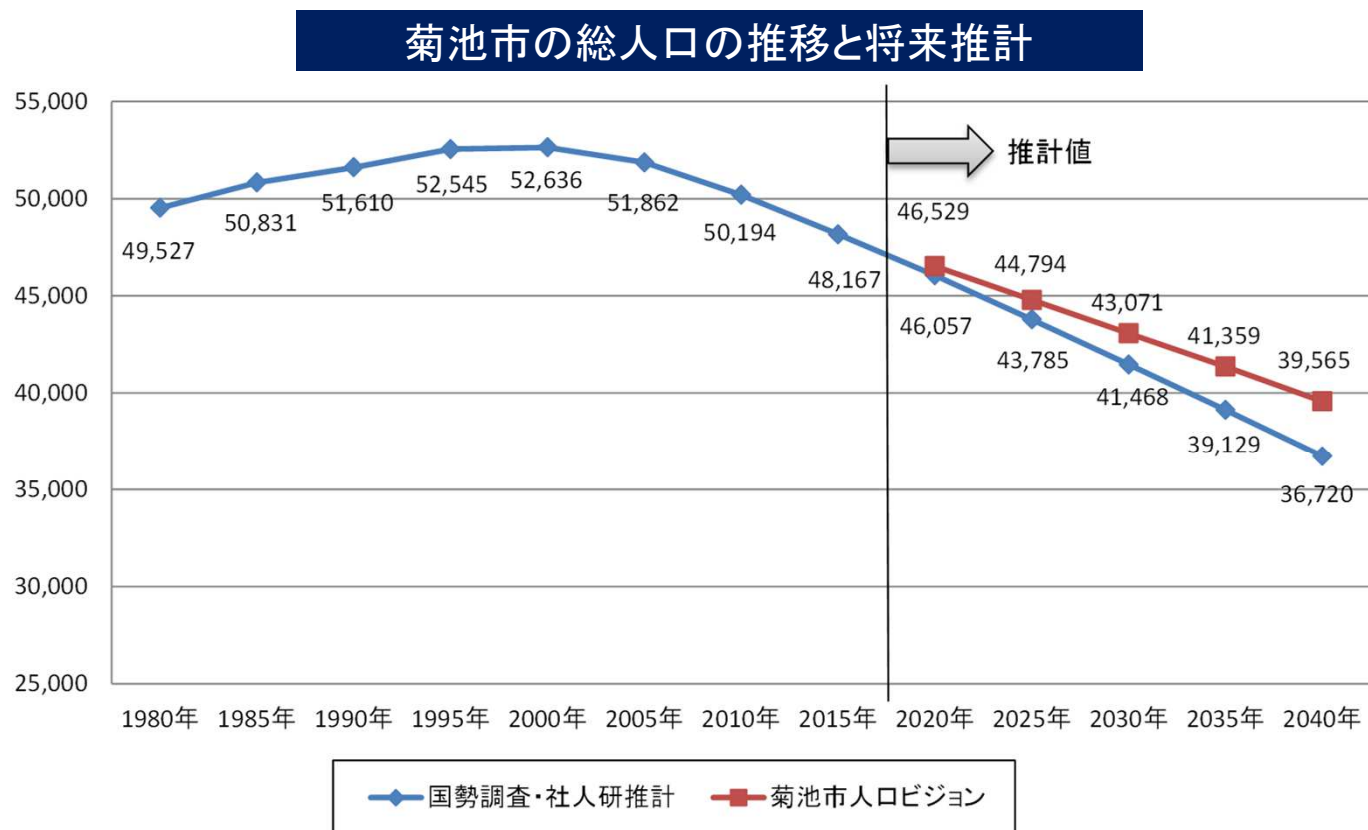
2. 菊池市の現状分析

- 2-1 人口とGDP
 - 2-2 地域経済循環分析
 - 2-3 産業ごとの付加価値分析
 - 2-4 企業数・事業所数・従業者数推移
 - 2-5 産業大分類別にみた売上高(企業単位)の構成比
 - 2-6 農業の現状
 - 2-7 林業の現状
 - 2-8 製造業の現状
 - 2-9 観光業の現状
-

1. 菊池市の人口動態

1-1 総人口と将来推計

- 菊池市の人口は、2000年にかけて約53,000人まで増加した後、今日に至るまで減少が継続。
- 人口減少対策に取り組むため、菊池市人口ビジョンを策定。3つの視点から長期的な安定人口を目指している。
 - ① 合計特殊出生率を2040年までに2.10まで上昇させることを目指す。
 - ② 2040年を目途に社会動態（転入－転出）±0を目指す。
 - ③ 地域資源を活かした産業と観光を柱とした、関係人口の増加を図る。

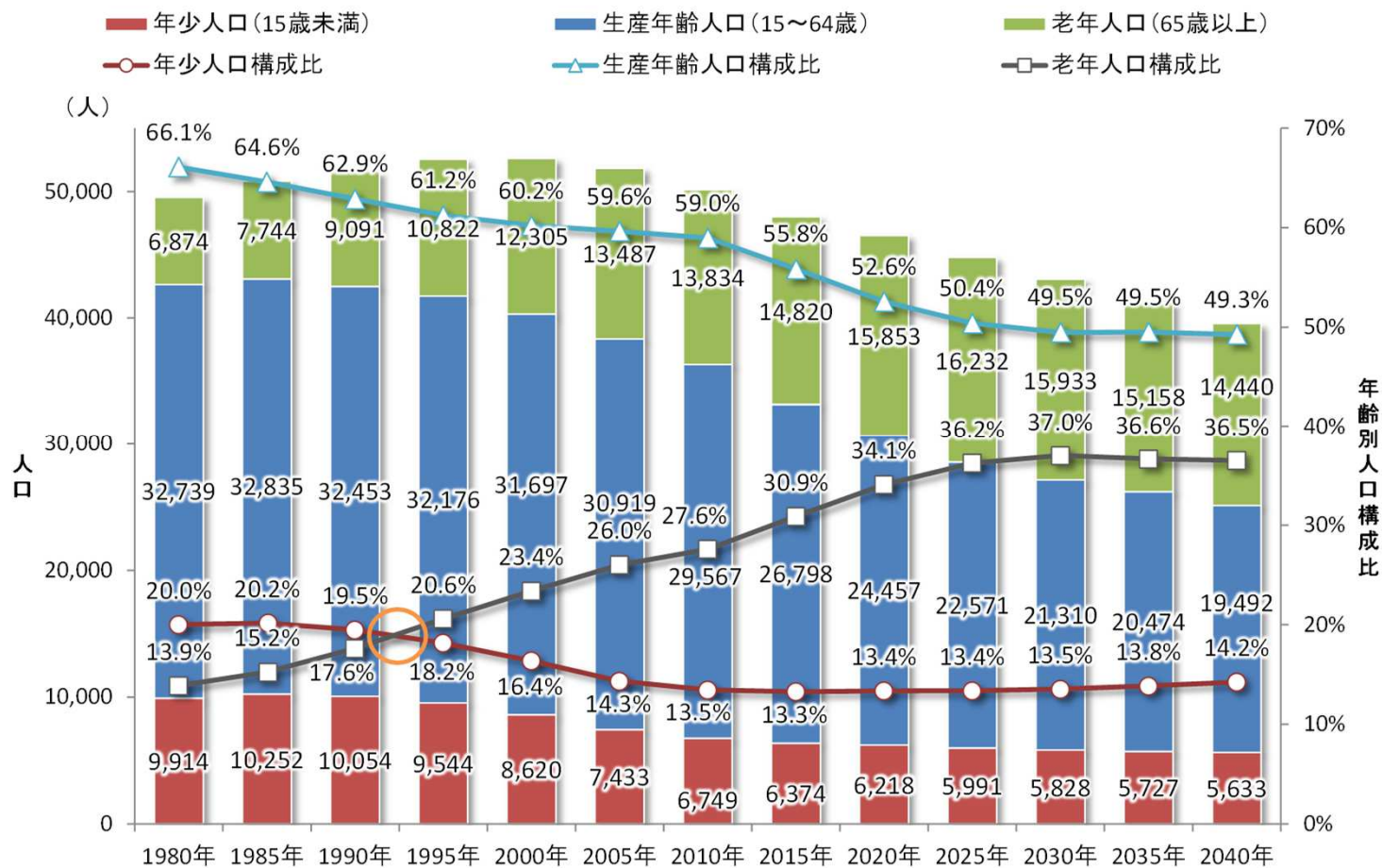


出典：国勢調査、菊池市人口ビジョン

1-2 年齢3区分別人口の推移と将来推計

- 少子高齢化の影響により、「老年人口」の割合が増加。
- 菊池市の高齢化率は2015年で30.9%、2020年には34.1%と3人に1人が高齢者となり、その後も上昇し続けると推計される。

年齢3区分別人口の推移と将来推計



出典: 国勢調査、菊池市人口ビジョン

1-3 人口ピラミッド①

- 2015年は男女ともに60～64歳人口が最も多い。
- 2045年は**男性65～69歳人口**、**女性90歳以上人口**が最も多くなる。



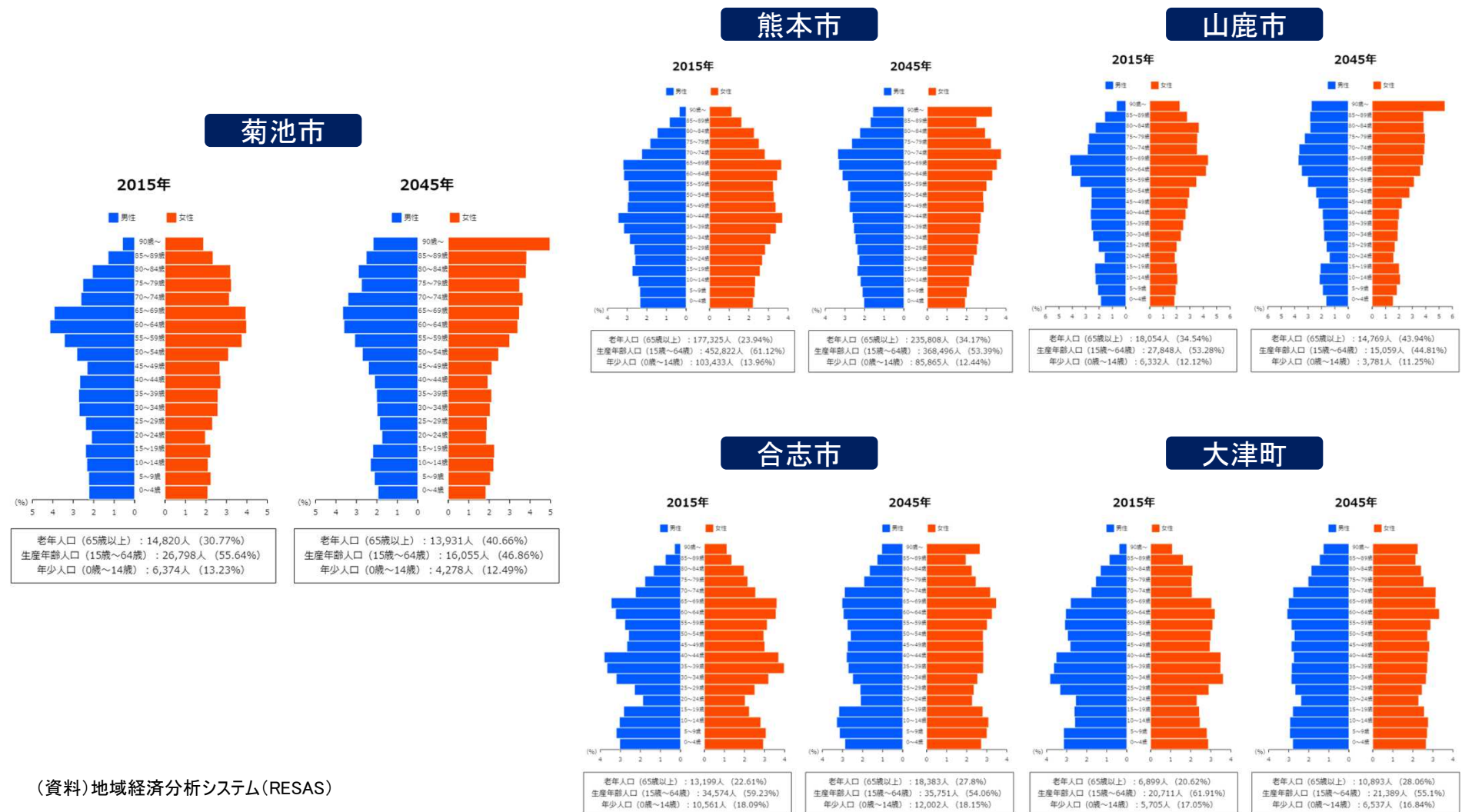
老年人口(65歳以上): 14,820人(30.77%)
 生産年齢人口(15歳～64歳): 26,798人(55.64%)
 年少人口(0歳～14歳): 6,374人(13.23%)

老年人口(65歳以上): 13,620人(35.85%)
 生産年齢人口(15歳～64歳): 18,853人(49.62%)
 年少人口(0歳～14歳): 5,521人(14.53%)

(資料) 国勢調査・菊池市人口ビジョン

1-3 人口ピラミッド② 他市町との比較

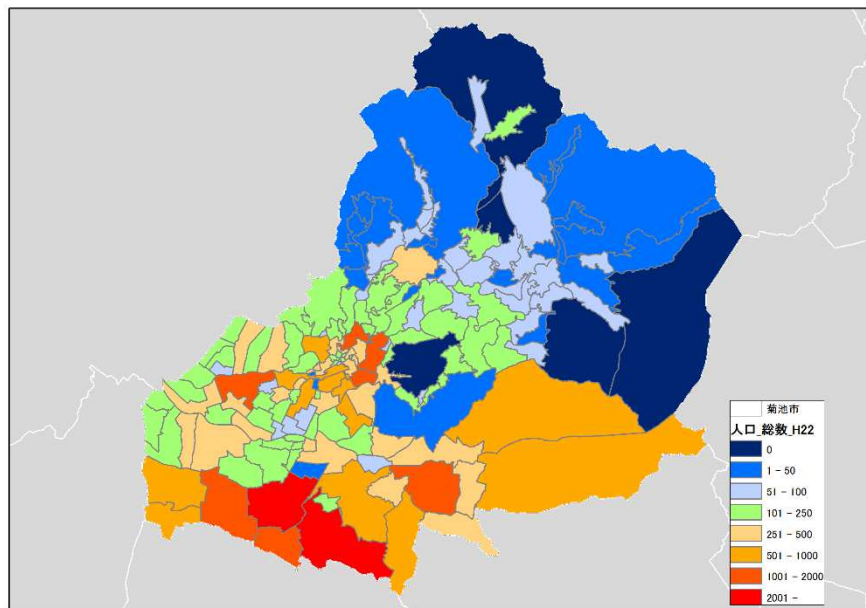
- 近隣自治体と比較すると、人口構造は山鹿市と類似。
- 合志市、大津町は少子高齢化の進行が比較的緩やかとなっている。



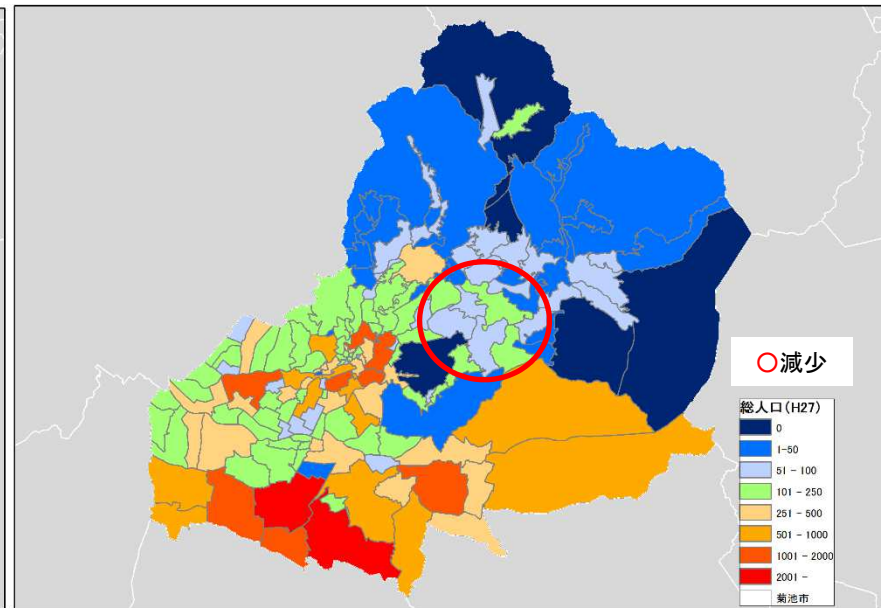
1-4 デジタルマップを活用した地域別分析① 総人口

- 地理情報システム(GIS: Geographic Information System)を活用して、総人口を可視化。
- 菊池市全体で総人口の増加地域はなく、**菊池地域の中央部で総人口の減少**が進んでいる。

2010年の総人口マッピング



2015年の総人口マッピング

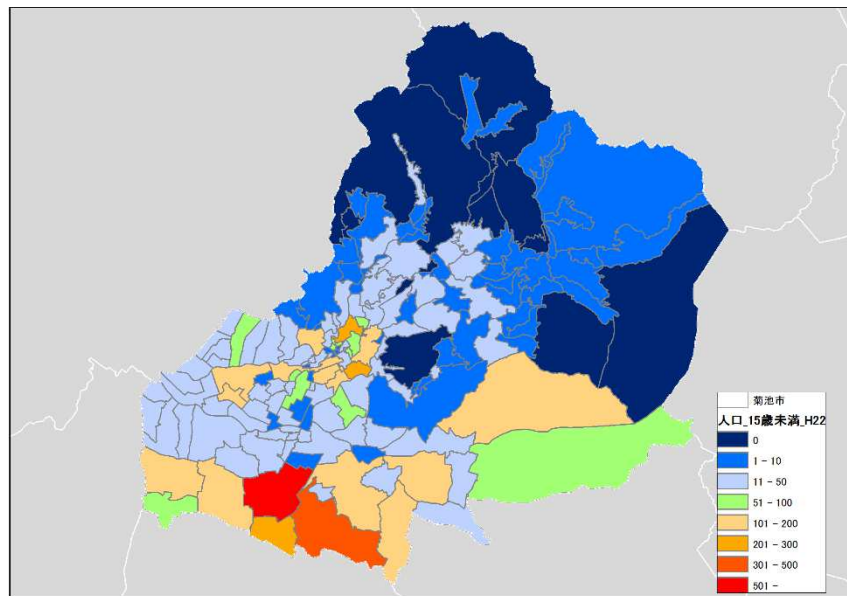


(資料)平成27年 国勢調査より当研究所作成

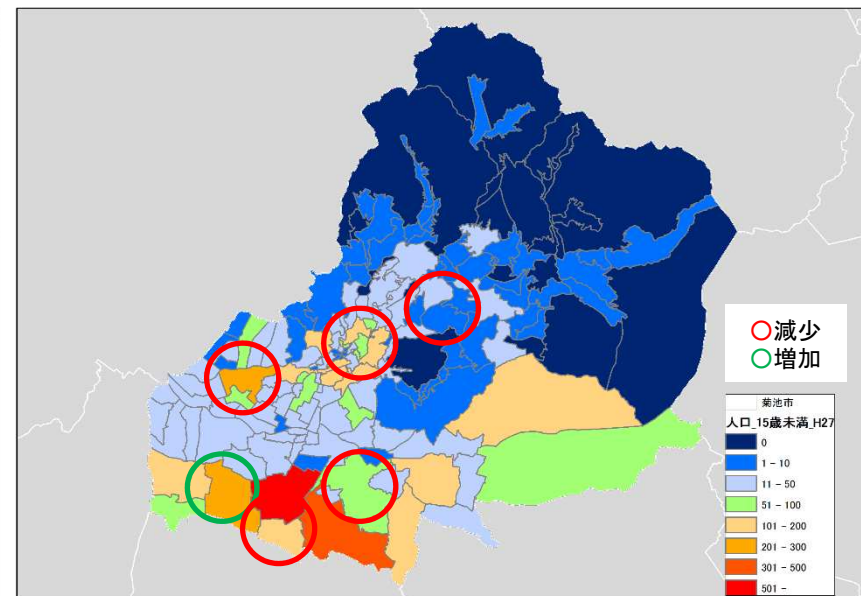
1-4 デジタルマップを活用した地域別分析② 15歳未満人口

- 地理情報システム(GIS: Geographic Information System)を活用して、15歳未満人口を可視化。
- 菊池地域、七城地域、泗水地域で15歳未満の人口減少が進んでいる。

2010年の15歳未満人口マッピング



2015年の15歳未満人口マッピング

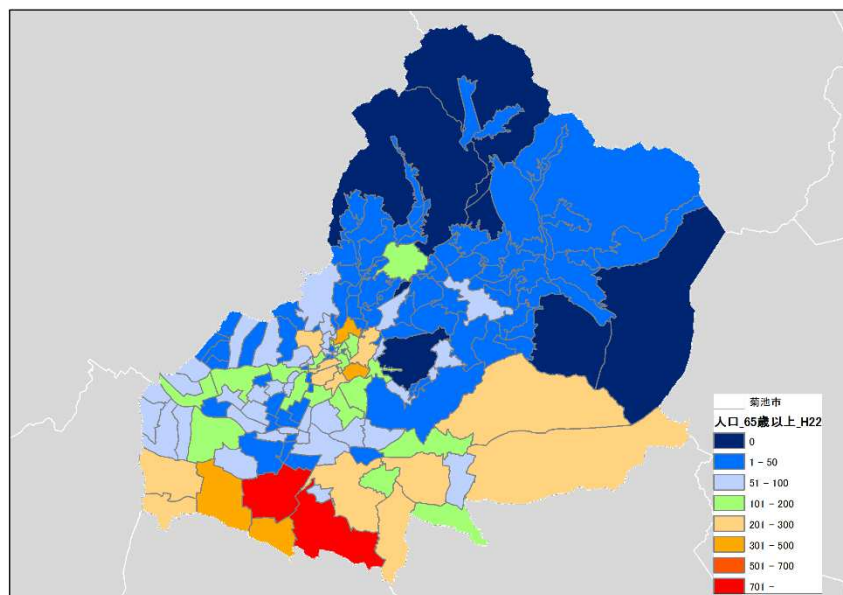


(資料)平成27年 国勢調査より当研究所作成

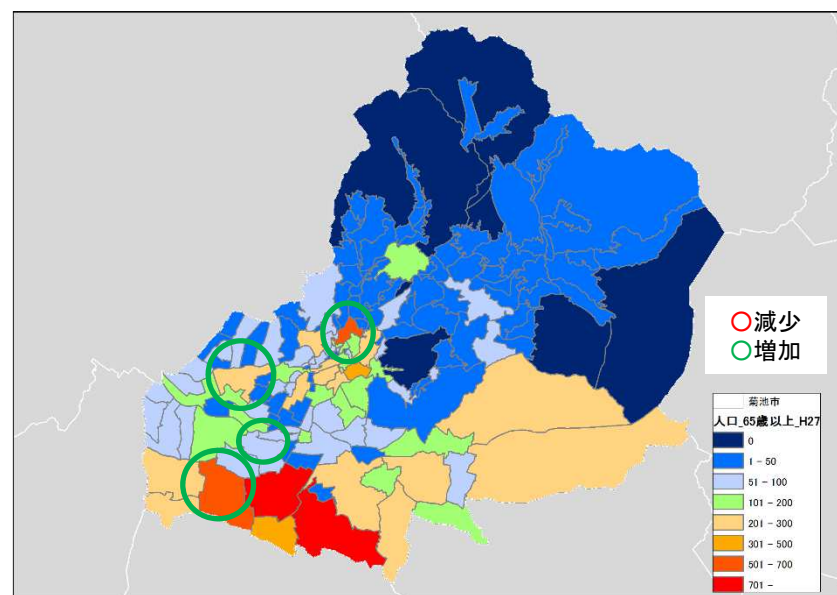
1-4 デジタルマップを活用した地域別分析③ 65歳以上人口

- 地理情報システム(GIS: Geographic Information System)を活用して、65歳以上人口を可視化。
- 菊池地域、七城地域、泗水地域で65歳以上人口が増加している。

2010年の65歳以上人口マッピング



2015年の65歳以上人口マッピング

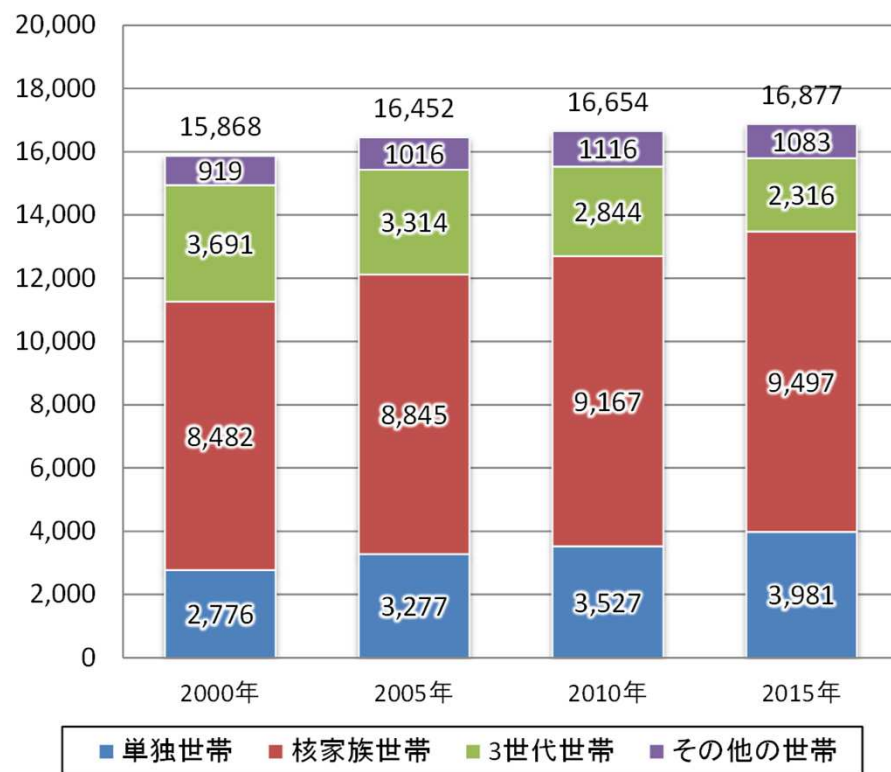


(資料)平成27年 国勢調査より当研究所作成

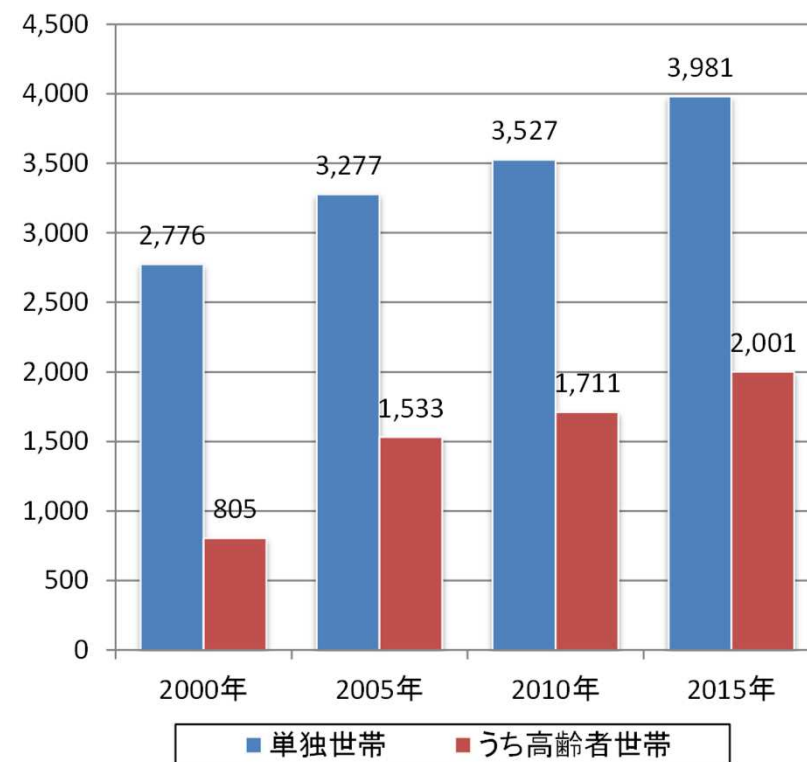
1-5 家族類型ごとの世帯数の推移

- 2000年から2015年にかけて総世帯数は増加。「単独世帯」「核家族世帯」が増加の一方、「3世代世帯」は減少。世帯構成人員が減少している。
- 「単独世帯」の増加とともに高齢者単独の世帯も増加。地域からの孤立等が懸念される高齢者が増加している。

家族類型ごとの世帯数の推移



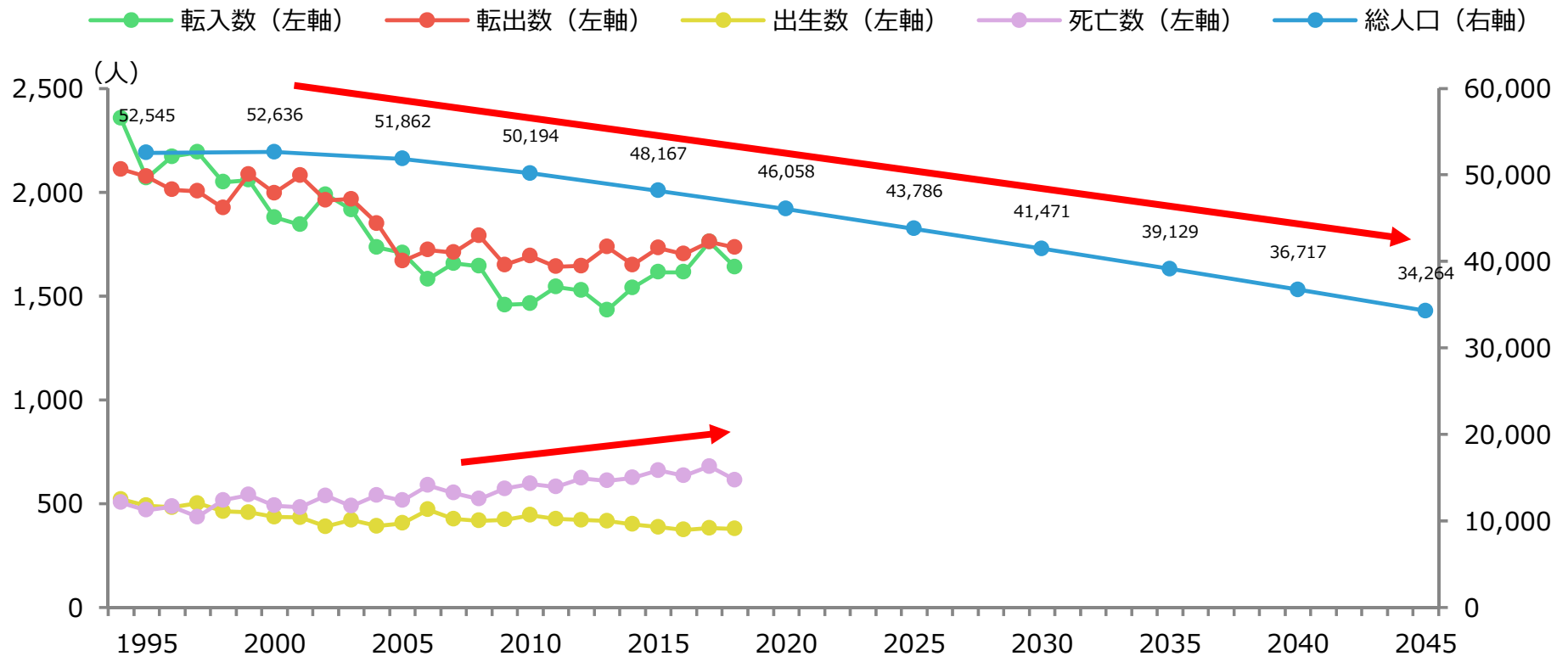
家族類型ごとの世帯数の推移



出典：国勢調査、菊池市人口ビジョン

1-6 出生数・死亡数／転入数・転出数①

- 総人口、転出、転入数は下降傾向。
- 出生数は緩やかな減少傾向にあり、死亡数は増加している。

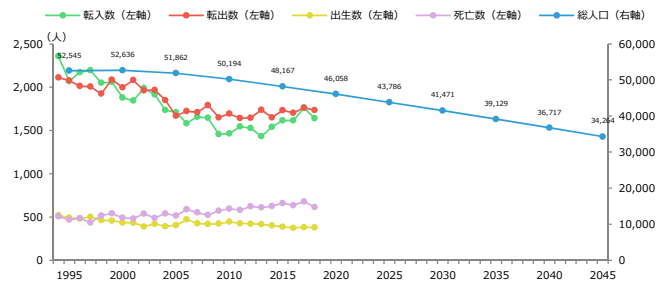


(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

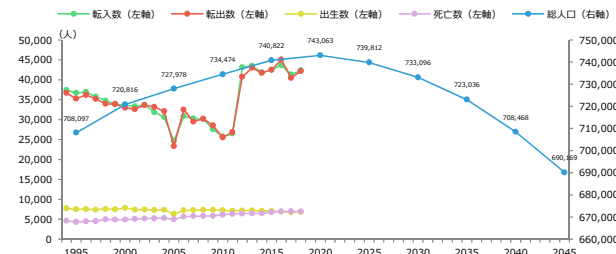
1-6 出生数・死亡数／転入数・転出数② 他市町との比較

- 人口が増加傾向にある合志市や大津町と比較すると、死亡数・出生数、転入数・転出数の差に開きがある。

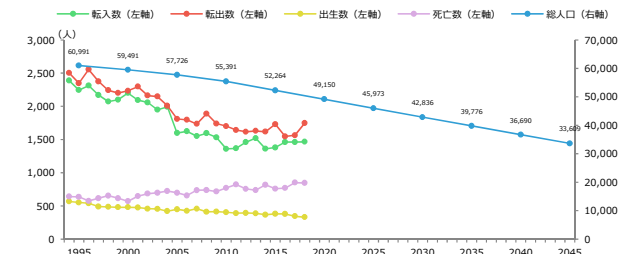
菊池市



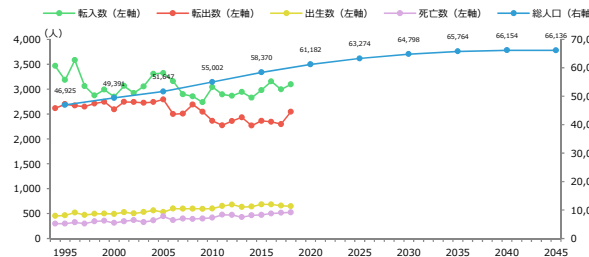
熊本市



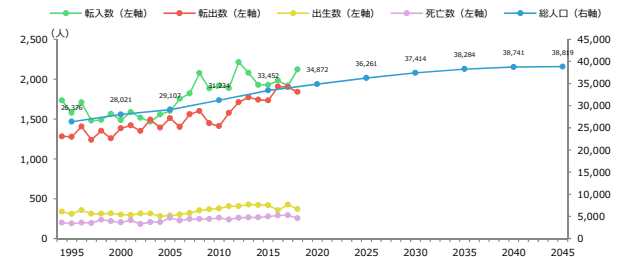
山鹿市



合志市



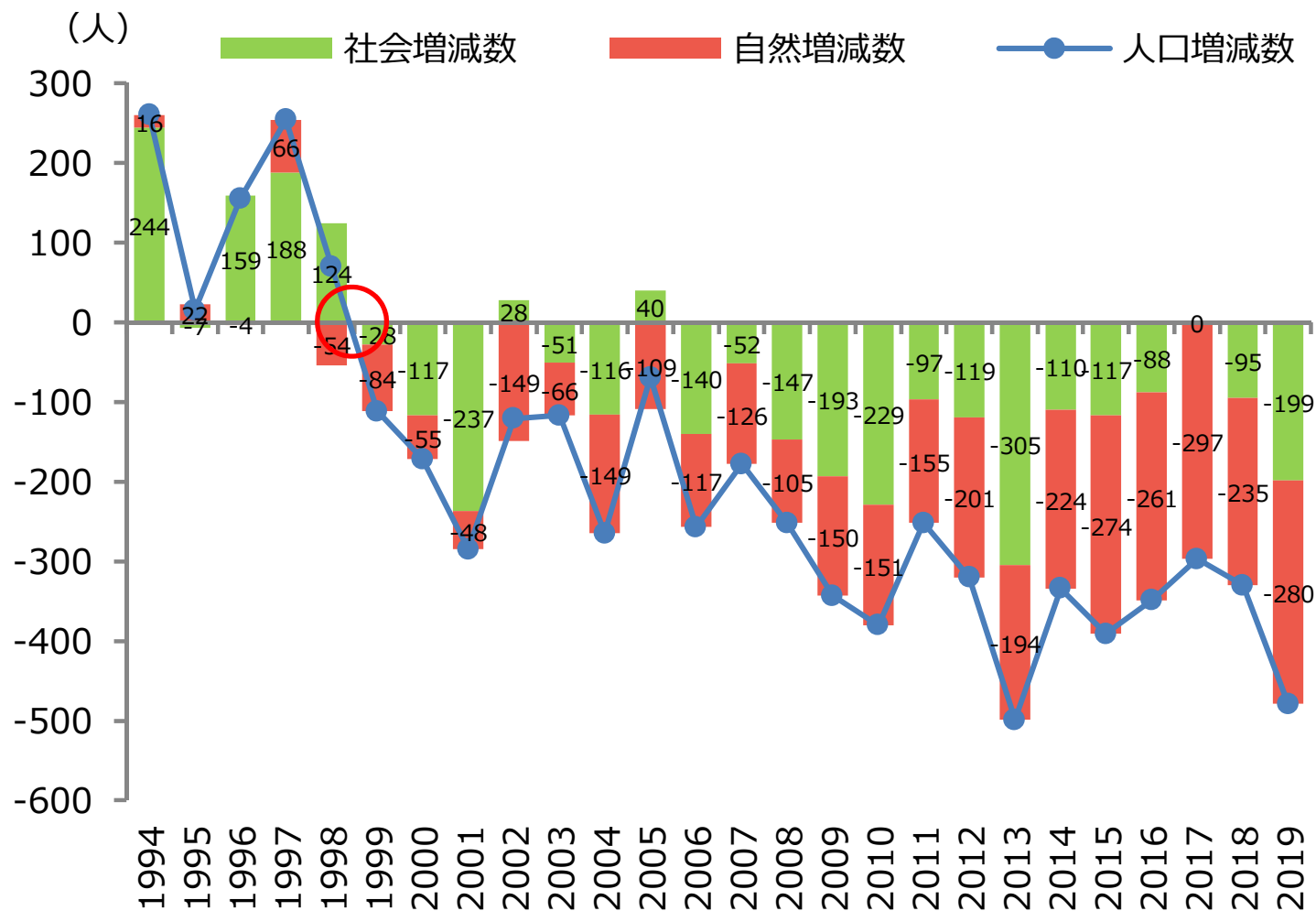
大津町



(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

1-7 自然増減・社会増減の推移①

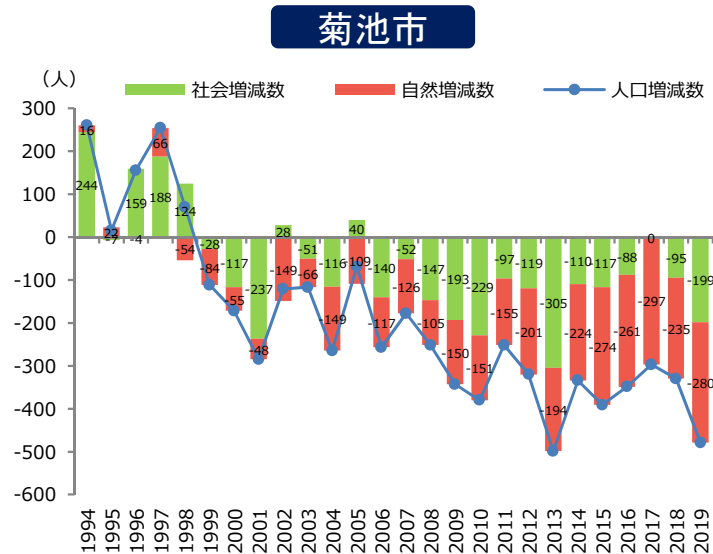
➤ 自然増減は1997年を境に出生<死亡、社会増減は1998年を境に 転入<転出 となり、総じて人口減に転じている。



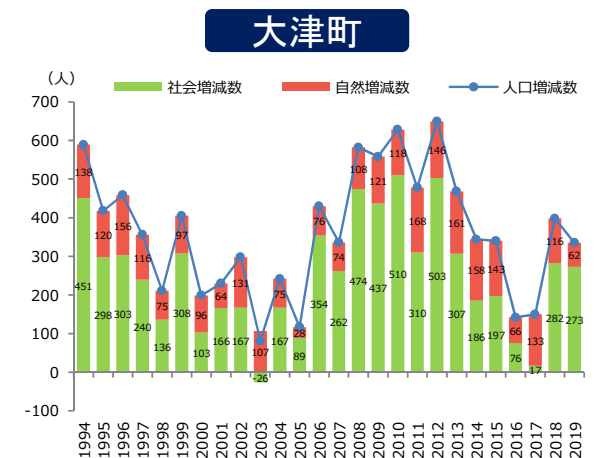
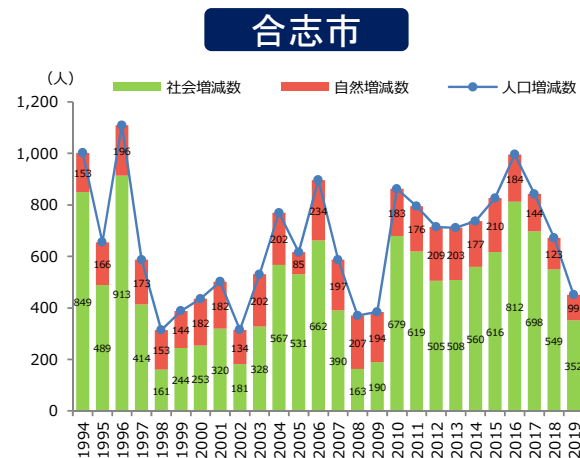
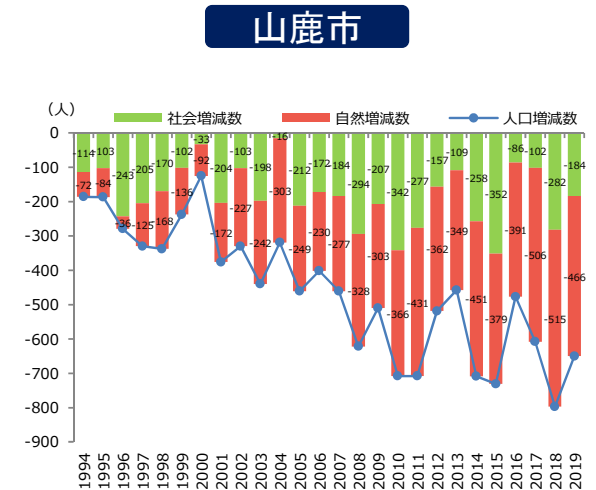
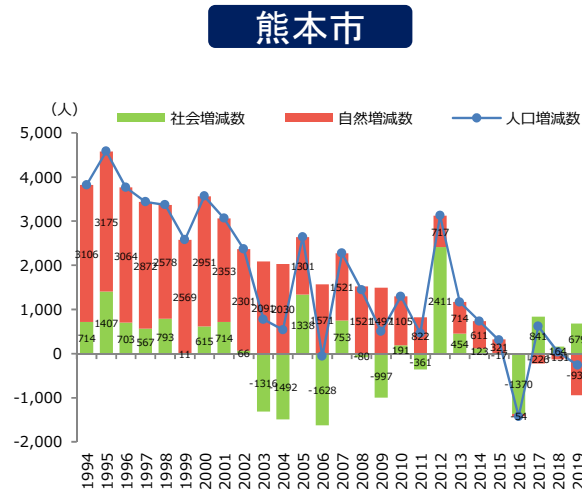
(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

1-7 自然増減・社会増減の推移② 他市町との比較

- 近隣自治体をみると、山鹿市で自然減、社会減に伴う人口減少の傾向にあるのに対し、合志市・大津町では自然増、社会増による人口増加の傾向が続いている。

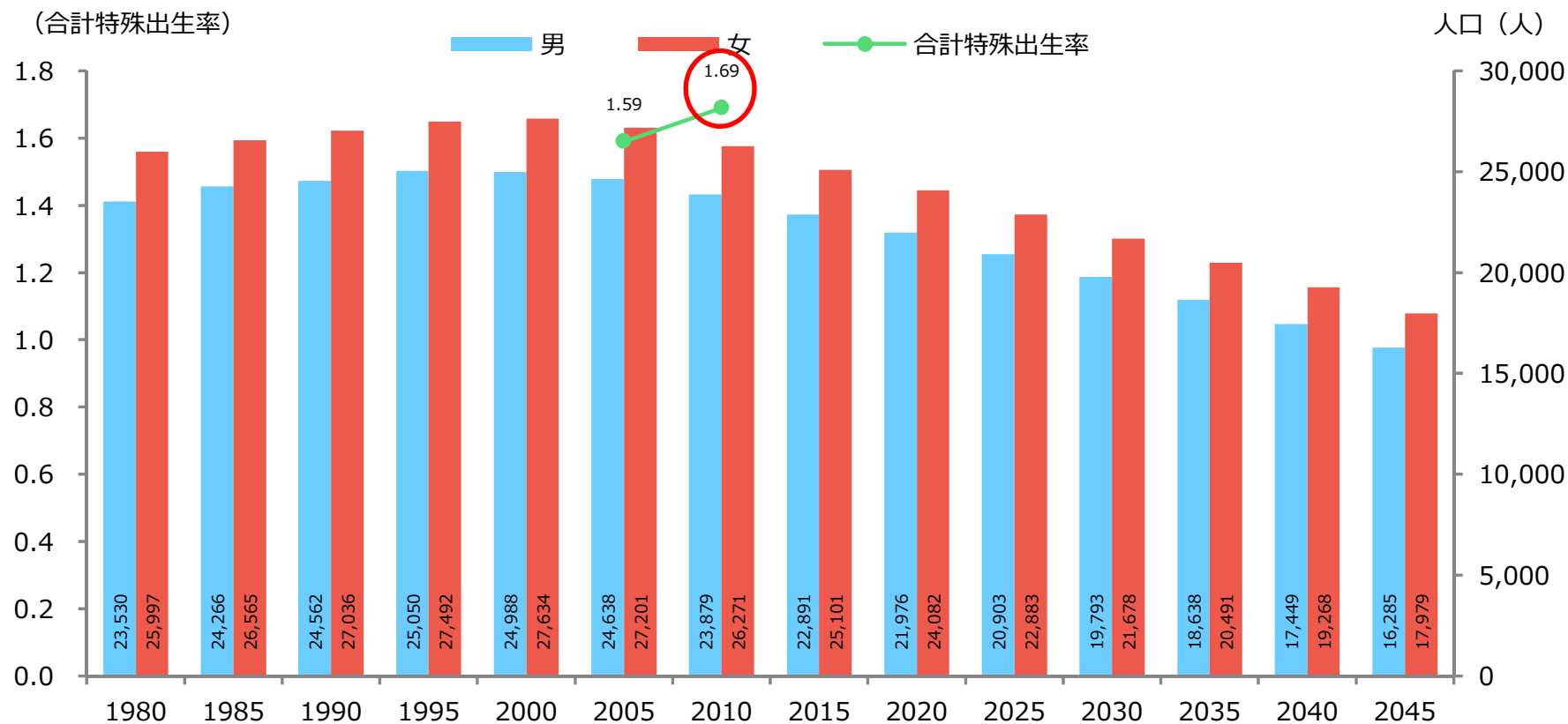


(資料) 地域経済分析システム (RESAS)



1-8 男女別人口・合計特殊出生率の推移①

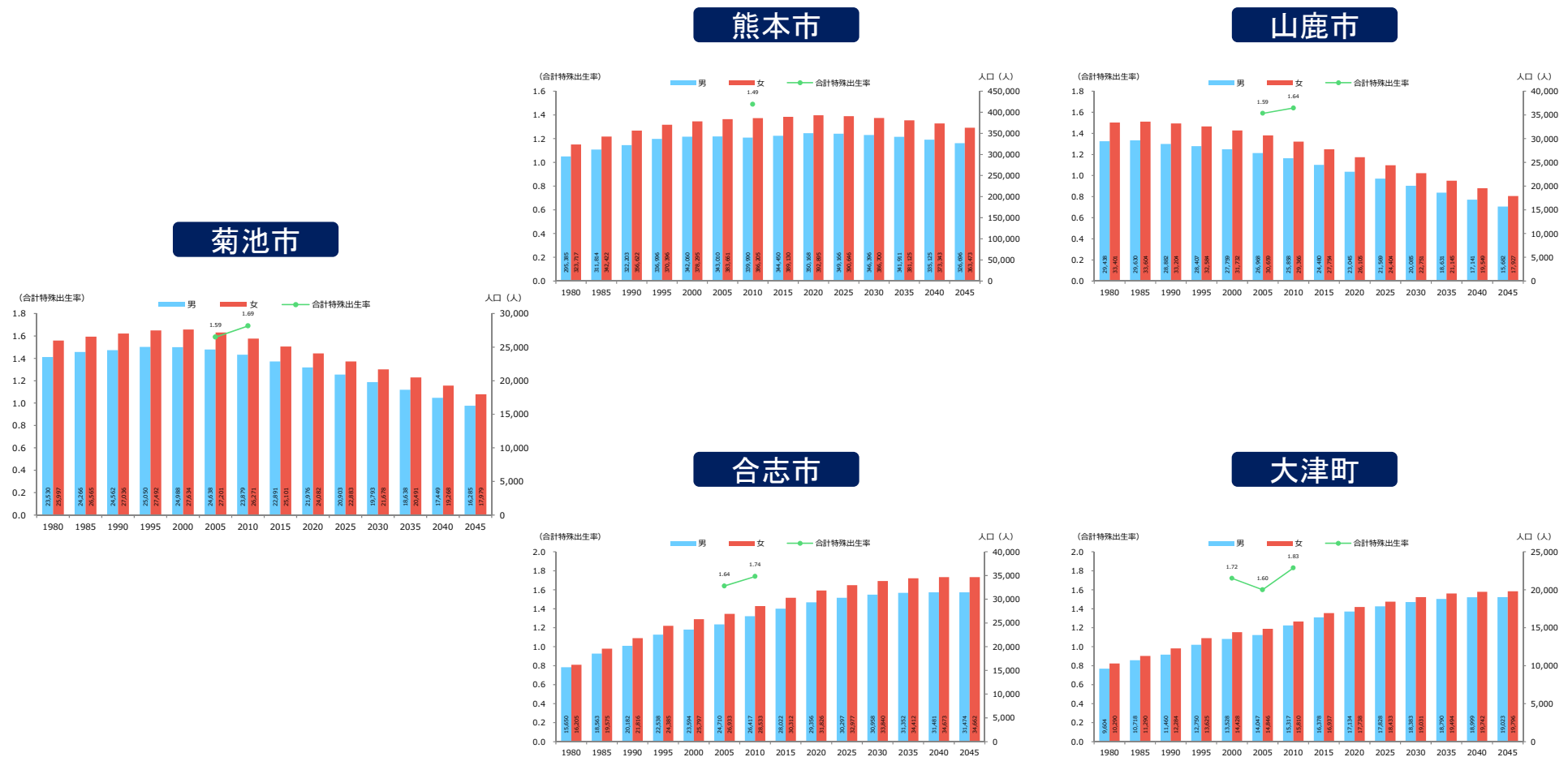
- 最新(2008～2012年)の合計特殊出生率は1.69。
- 全国(同期間1.38)、県(同期間1.61)と比べて合計特殊出生率が高い。



(資料)地域経済分析システム(RESAS)

1-8 男女別人口・合計特殊出生率の推移② 他市町との比較

- 合志市、大津町は2008～2012年の合計特殊出生率がそれぞれ1.74、1.83と菊池市よりも高い水準となっている。

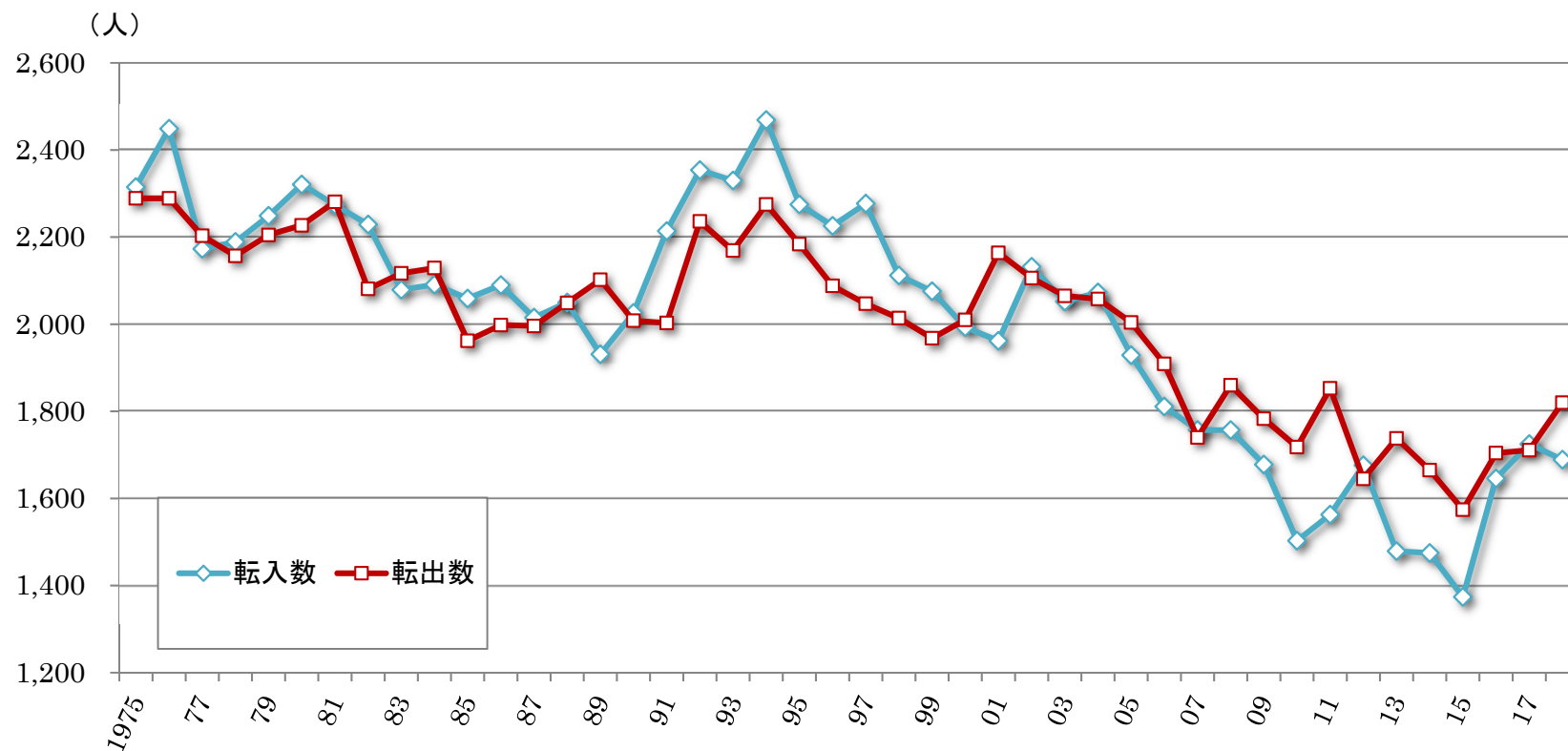


(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

1-9 転入・転出の状況

- 社会増減(転入数－転出数)の推移をみると、2001年から全体的に減少傾向にあるが、2007年、2012年、2017年など増加した年もあり。

転入・転出数の推移

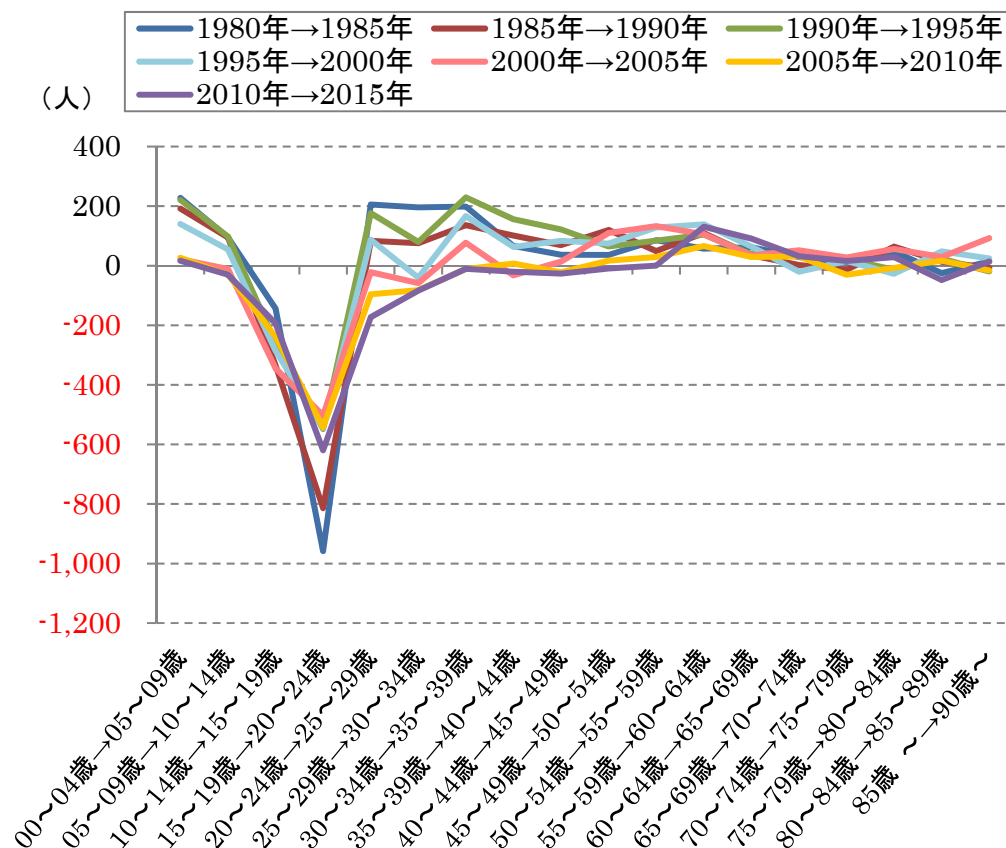


出典: 国勢調査

1-10 年齢階級別の転入・転出状況

- 進学、就職等にかかる15歳～24歳までの若年層の転出者数が転入者数を上回る「転出超過」が大部分を占めている。
- 20歳台の転出先として、熊本市へ69名が転出。

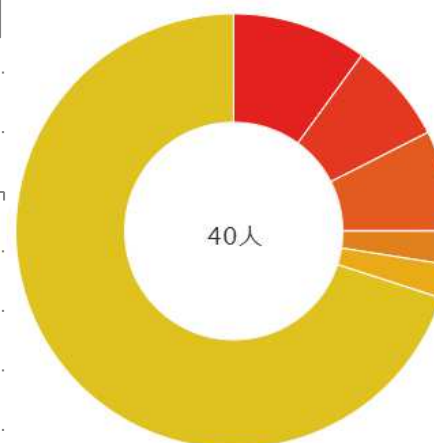
年齢階級別純移動数の時系列分析



出典: 国勢調査

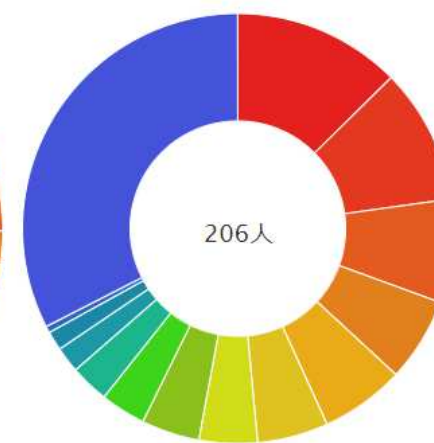
20歳台の転入・転出の内訳(2019年)

転入超過数内訳



- 1位 熊本県荒尾市 4人 (10.00%)
- 2位 熊本県玉名市 3人 (7.50%)
- 2位 熊本県八代市 3人 (7.50%)
- 4位 鹿児島県鹿児島市 1人 (2.50%)
- 4位 熊本県益城町 1人 (2.50%)
- 6位 その他 28人 (70.00%)

転出超過数内訳



- 1位 熊本県熊本市東区 26人 (12.62%)
- 2位 熊本県熊本市中央区 21人 (10.19%)
- 3位 熊本県菊陽町 16人 (7.77%)
- 4位 熊本県合志市 13人 (6.31%)
- 4位 熊本県山鹿市 13人 (6.31%)
- 6位 福岡県久留米市 11人 (5.34%)
- 7位 熊本県大津町 9人 (4.37%)
- 7位 熊本県熊本市南区 9人 (4.37%)
- 9位 熊本県熊本市北区 7人 (3.40%)
- 10位 熊本県熊本市西区 6人 (2.91%)

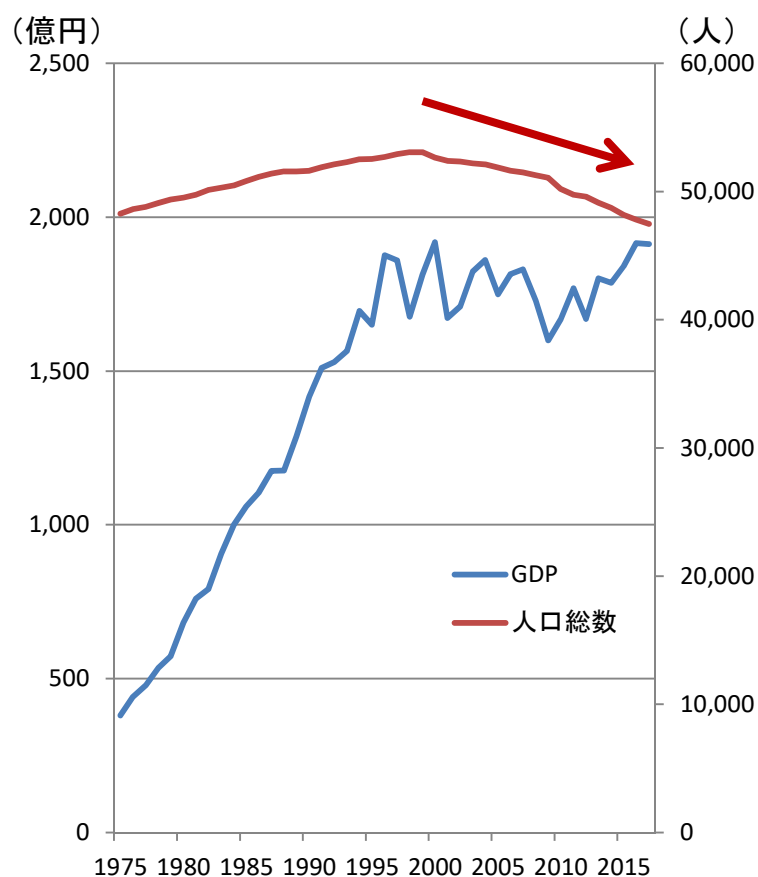
(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

2. 菊池市の現状分析

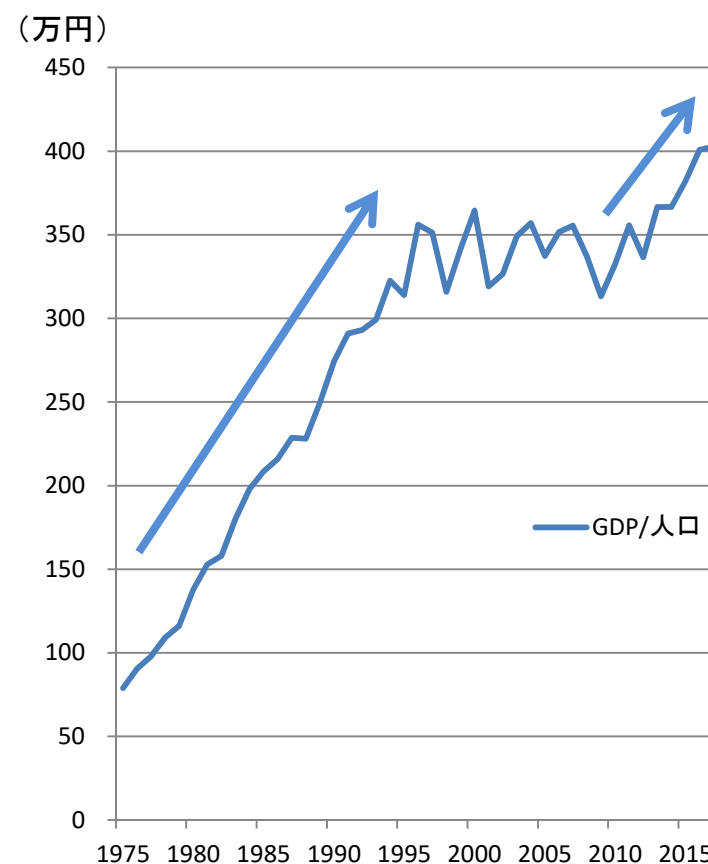
2-1 人口とGDP

- 1人当たりGDPは、緩やかなGDP増加と人口減少により上昇傾向にあったが、コロナ禍の影響により大幅な減少が想定される。内閣府は、元の水準に戻るには相当時間がかかり厳しい経済状況が続くとの見通しを立てている。
- 同GDPは**今後の菊池市の経済規模及び財政状況に影響を及ぼす**ことから、ポストコロナを見据えた対策を講じることで**地域社会の持続可能性を高める**ことが重要。

菊池市の人口とGDPの推移



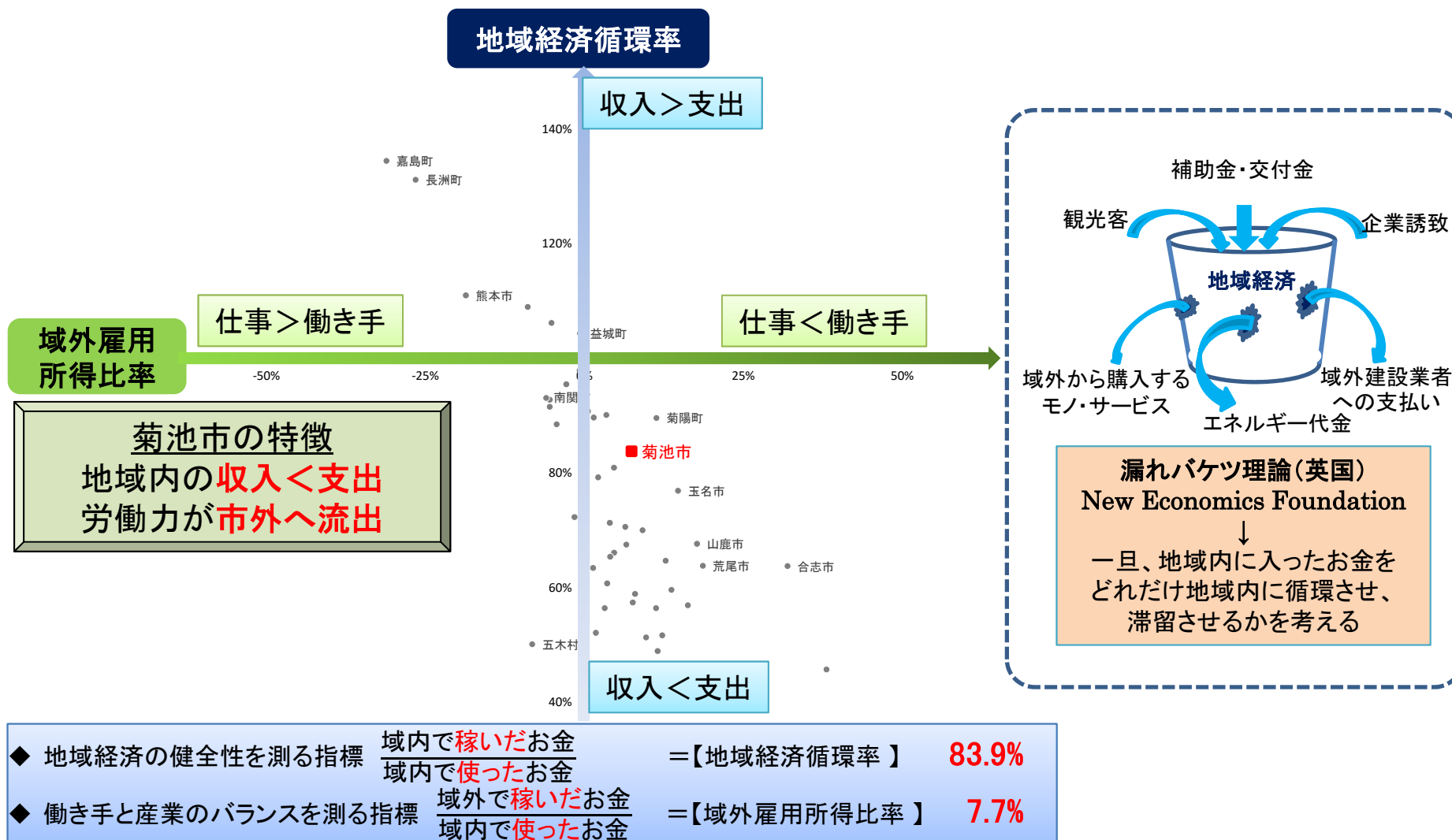
菊池市一人あたりのGDP



(資料)熊本県「市町村民経済計算」「市区町村別人口推移」

2-2 地域経済循環分析

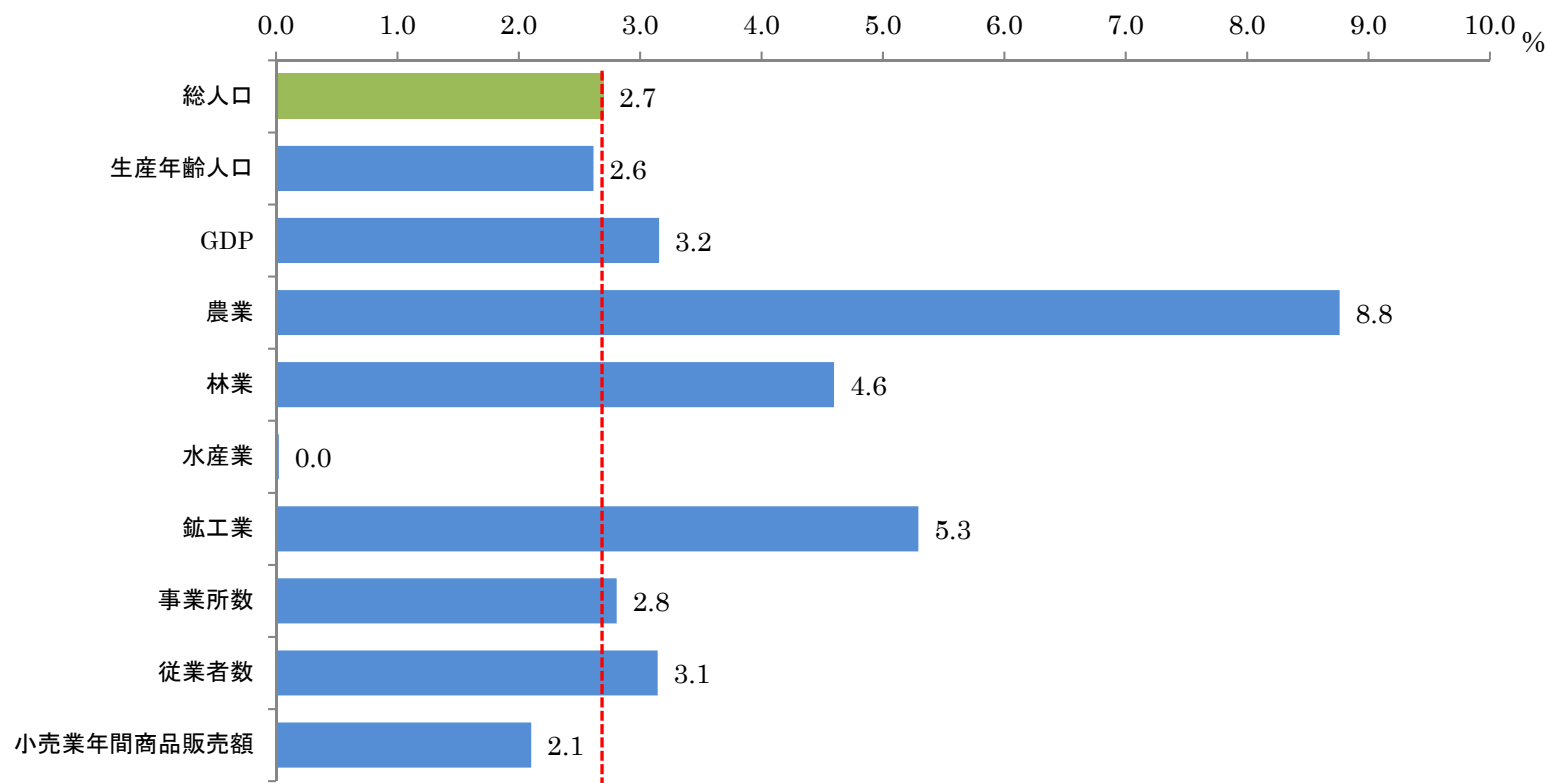
- 地域経済循環率は83.9%と**市外での支出が大きい**ことを示している。
- 労働力は市内から市外へ流出している。



(資料) RESAS「地域経済循環マップ2013年」より作成

2-3 産業ごとの付加価値分析①

- 近隣市町村との比較分析のため、産業毎の強み及び弱みを整理。
- 県内人口に占める割合を基に比較すると、「農業」「林業」「鉱工業」に優位性があることがわかる。

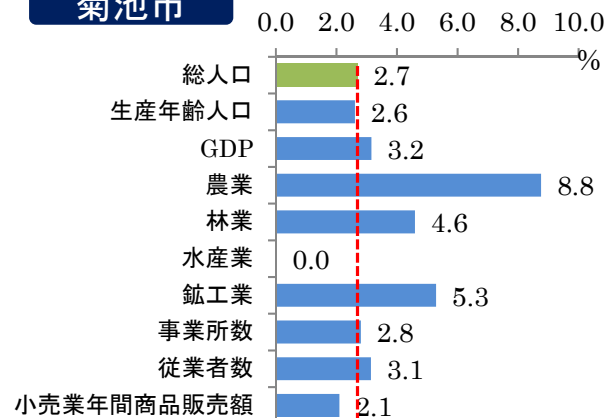


(資料)市町村民経済計算、経済センサス

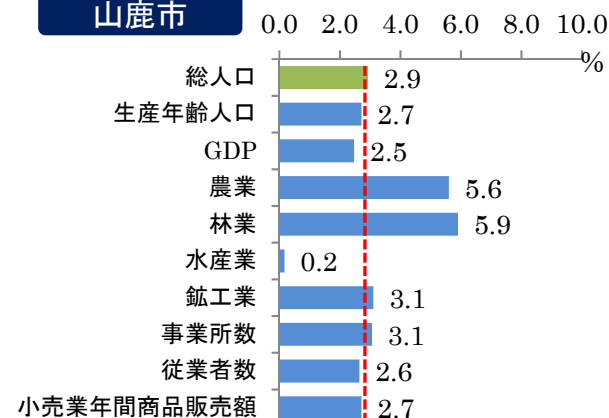
2-3 産業ごとの付加価値分析② 他市町との比較

➤ 近隣自治体と比較すると「農業」「林業」の占める割合が突出。鉱工業の割合も5.3%と合志市に次いで高い水準となっている。

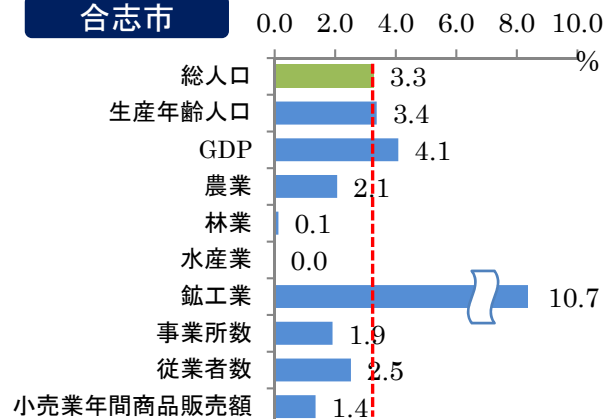
菊池市



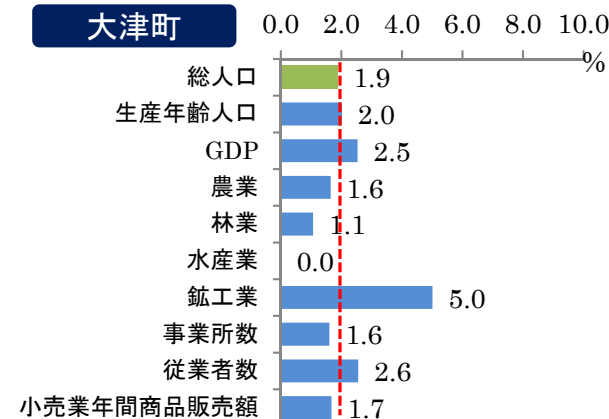
山鹿市



合志市



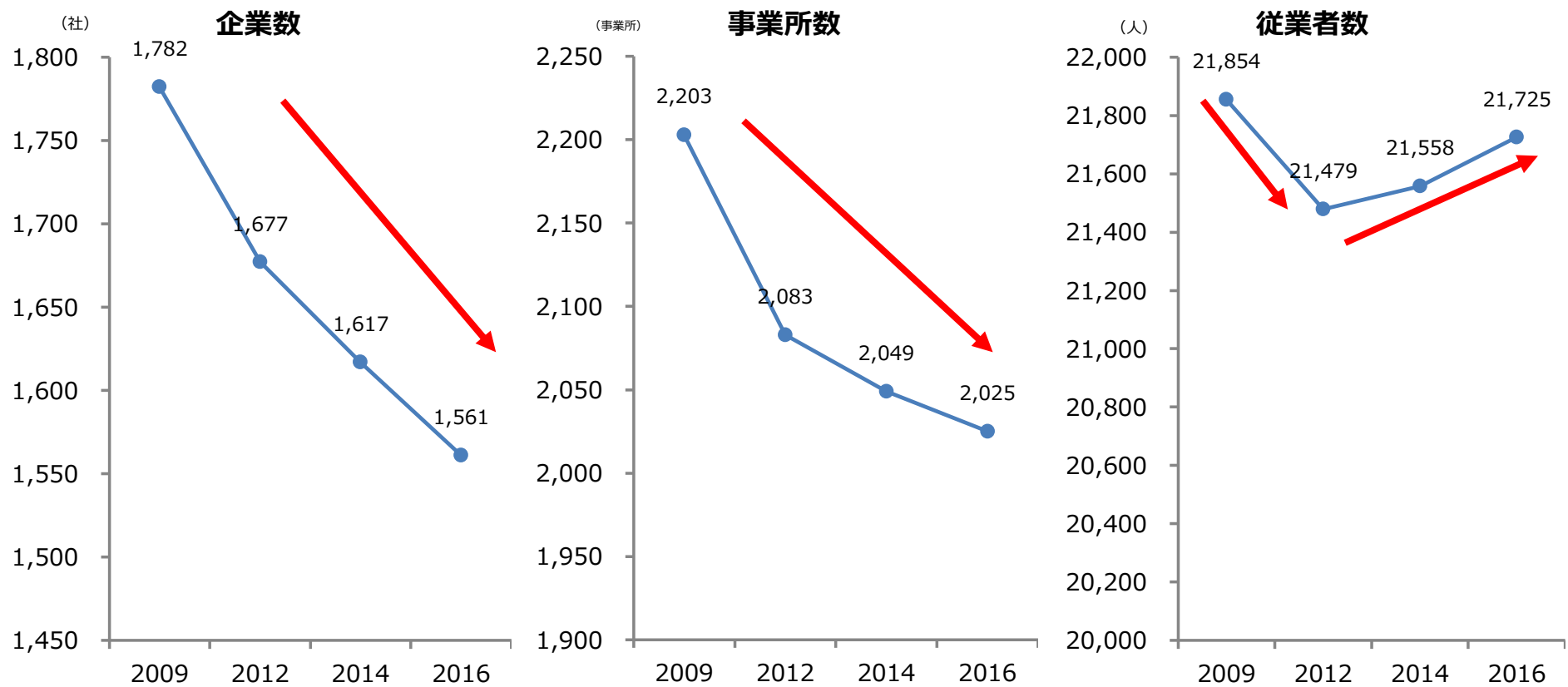
大津町



(資料)市町村民経済計算、経済センサス

2-4 企業数・事業所数・従業者数推移①

➤ 企業数、事業所数は減少しているが、**従業者数は増加傾向**にある。



(資料)地域経済分析システム (RESAS)

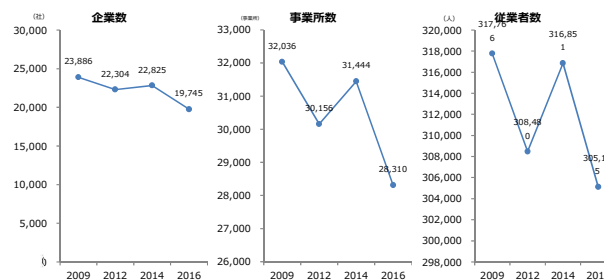
2-4 企業数・事業所数・従業者数推移② 他市町との比較

➤ 近隣自治体では、一時的に増加する年もみられるが、全体的に減少の傾向が強い。

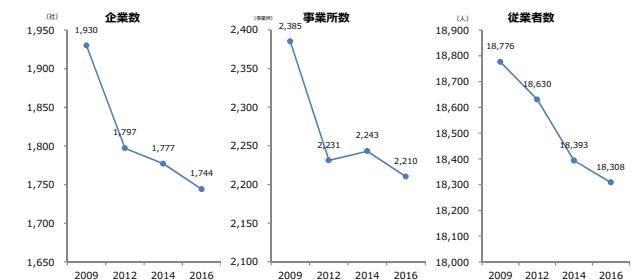
菊池市



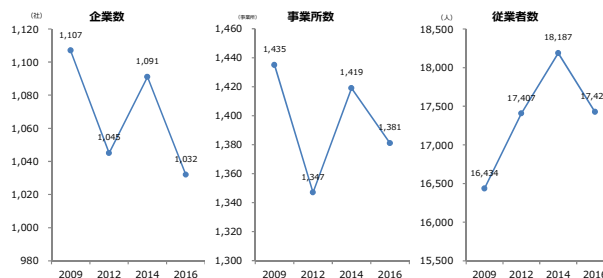
熊本市



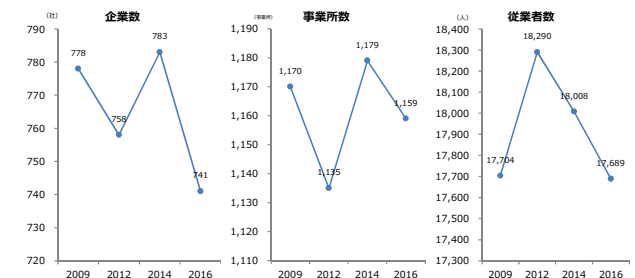
山鹿市



合志市



大津町

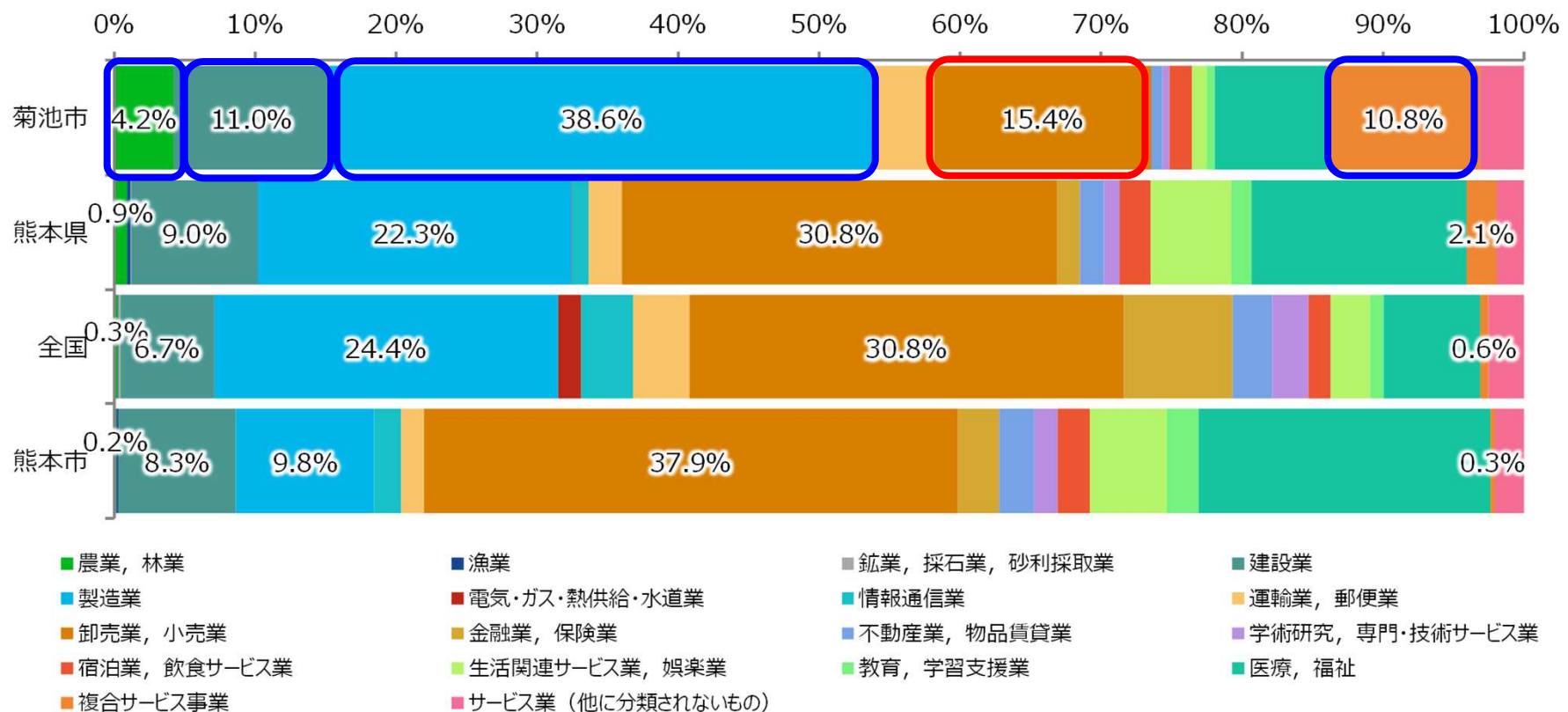


(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

2-5 産業大分類別にみた売上高(企業単位)の構成比

- 売上高は農業・林業、建設業、製造業、複合サービス事業の売上高が県や市、全国と比べて高い。
- 卸売業・小売業の売上高は県や市、全国と比べて低い。

産業大分類別にみた売上高(企業単位)の構成比(2016)

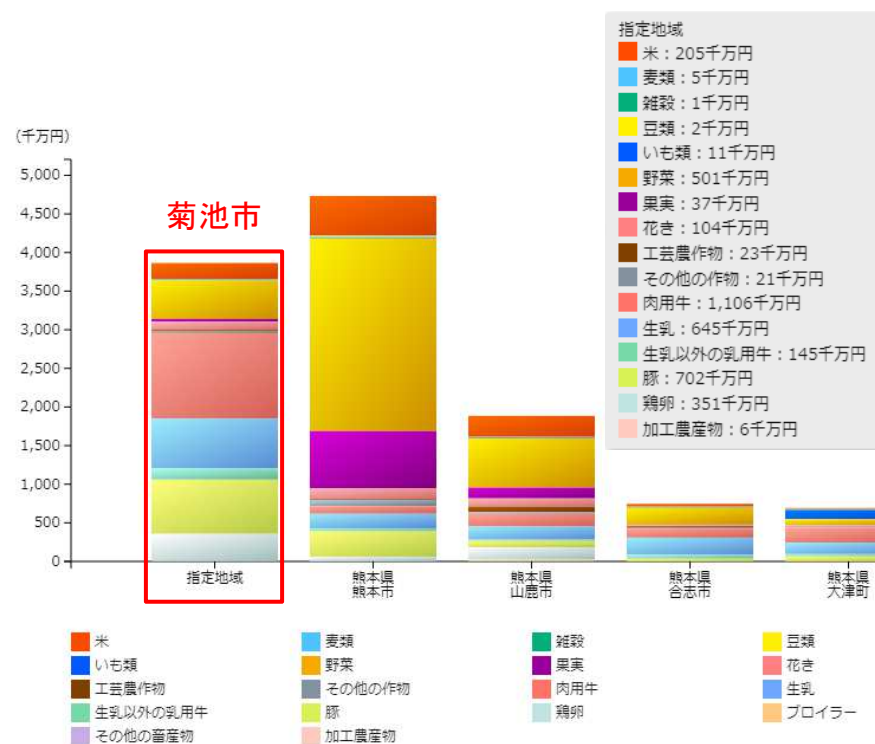


(資料) 地域経済分析システム (RESAS)

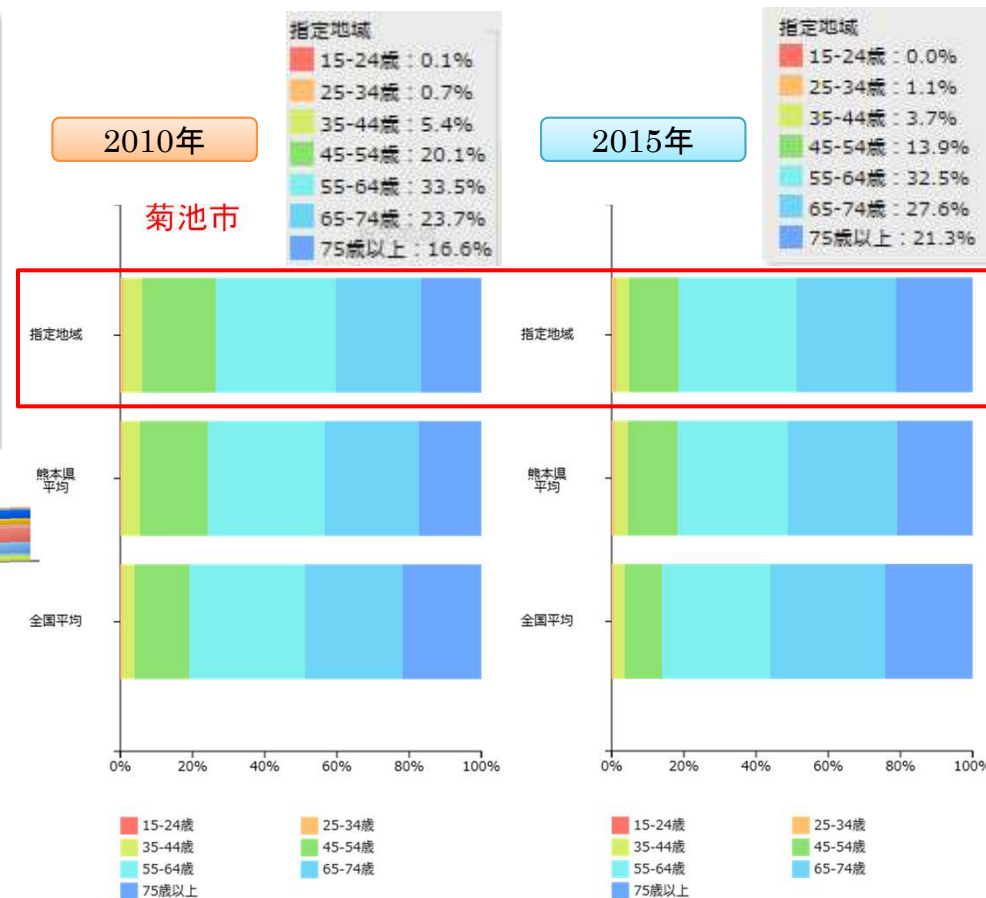
2-6 農業の現状

- 2018年の農業産出額では肉用牛、豚、生乳、野菜の順に多い。
- 農業経営者の高齢化が進展している。

2018年 品目別の農業産出構造



菊池市農業経営者の年齢構成推移

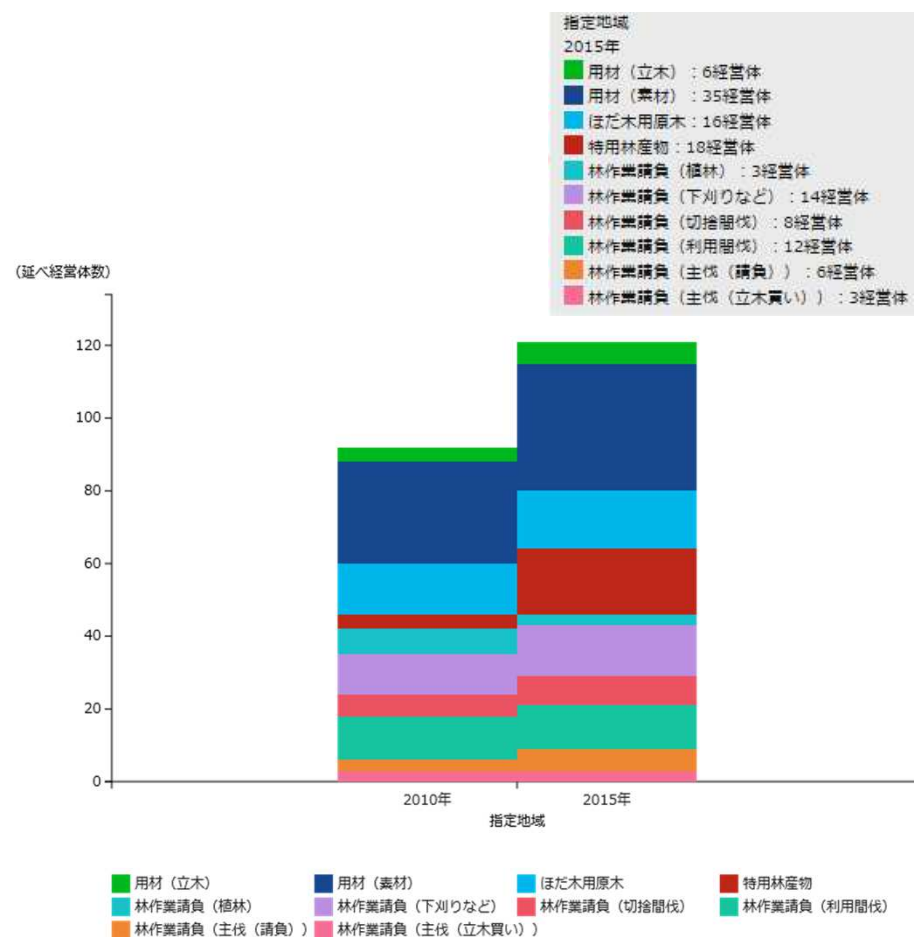


(資料)地域経済分析システム(RESAS)

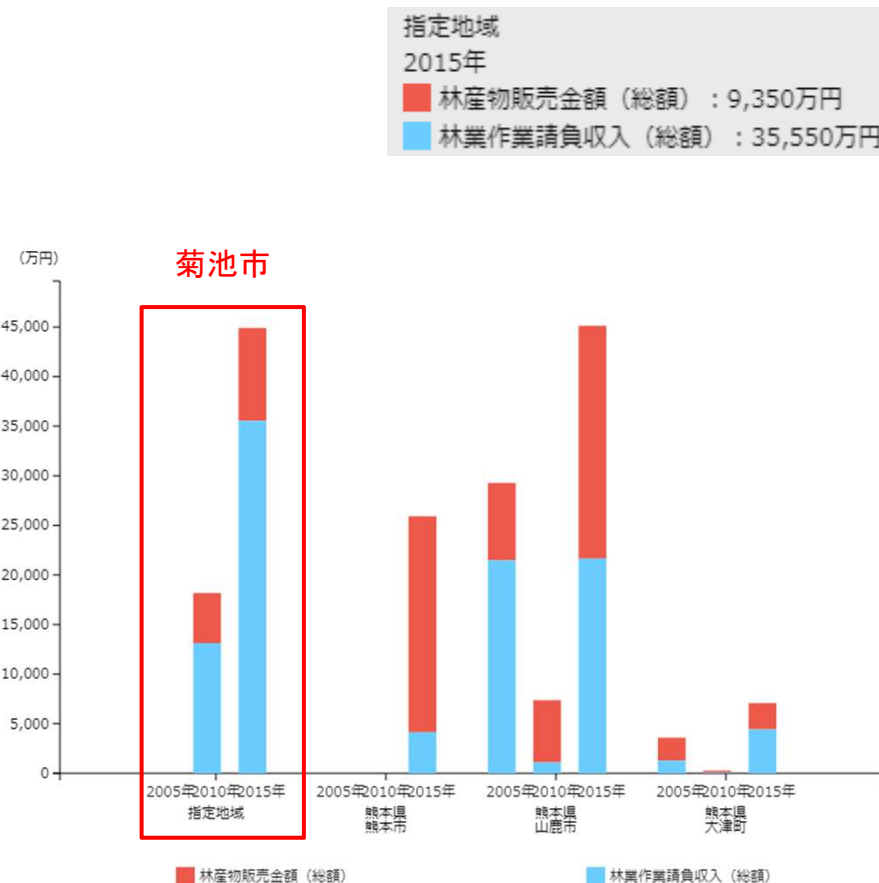
2-7 林業の現状

- 2015年の経営体の内訳は用材(素材)、特用林産物、ほだ木用原木の順に多い。
- 2010年から2015年にかけて、総収入が約2.5倍増加している。

菊池市林業経営体数の構成



林業総収入

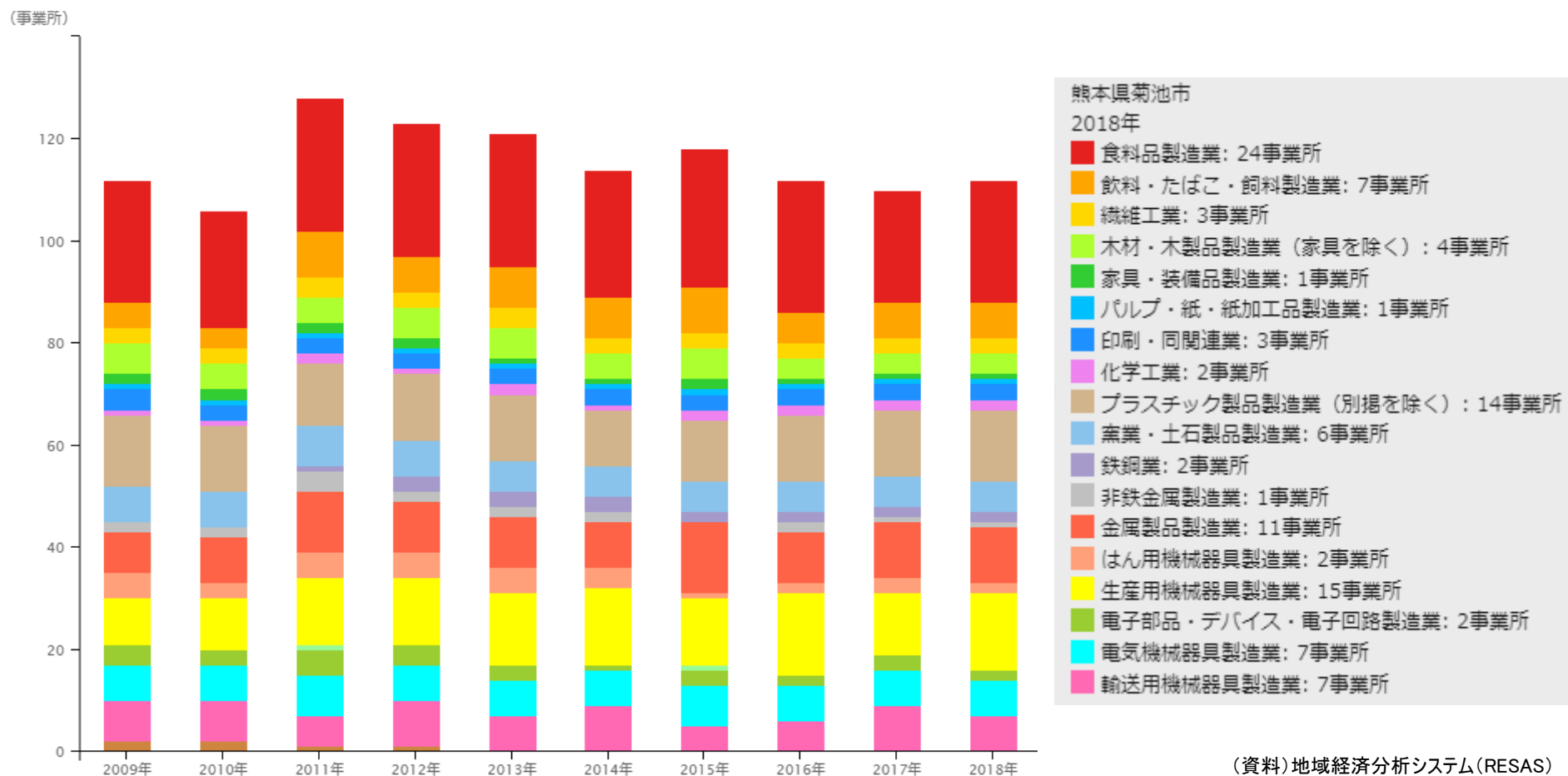


(資料) 地域経済分析システム(RESAS)

2-8 製造業の現状①

- 2011年に事業所数は128事業所に増加したものの、その後は減少傾向にある。
- 直近の2018年は112事業所。業種では**食料品製造業、生産用機械器具製造業、プラスチック製品製造業**の順に多い。

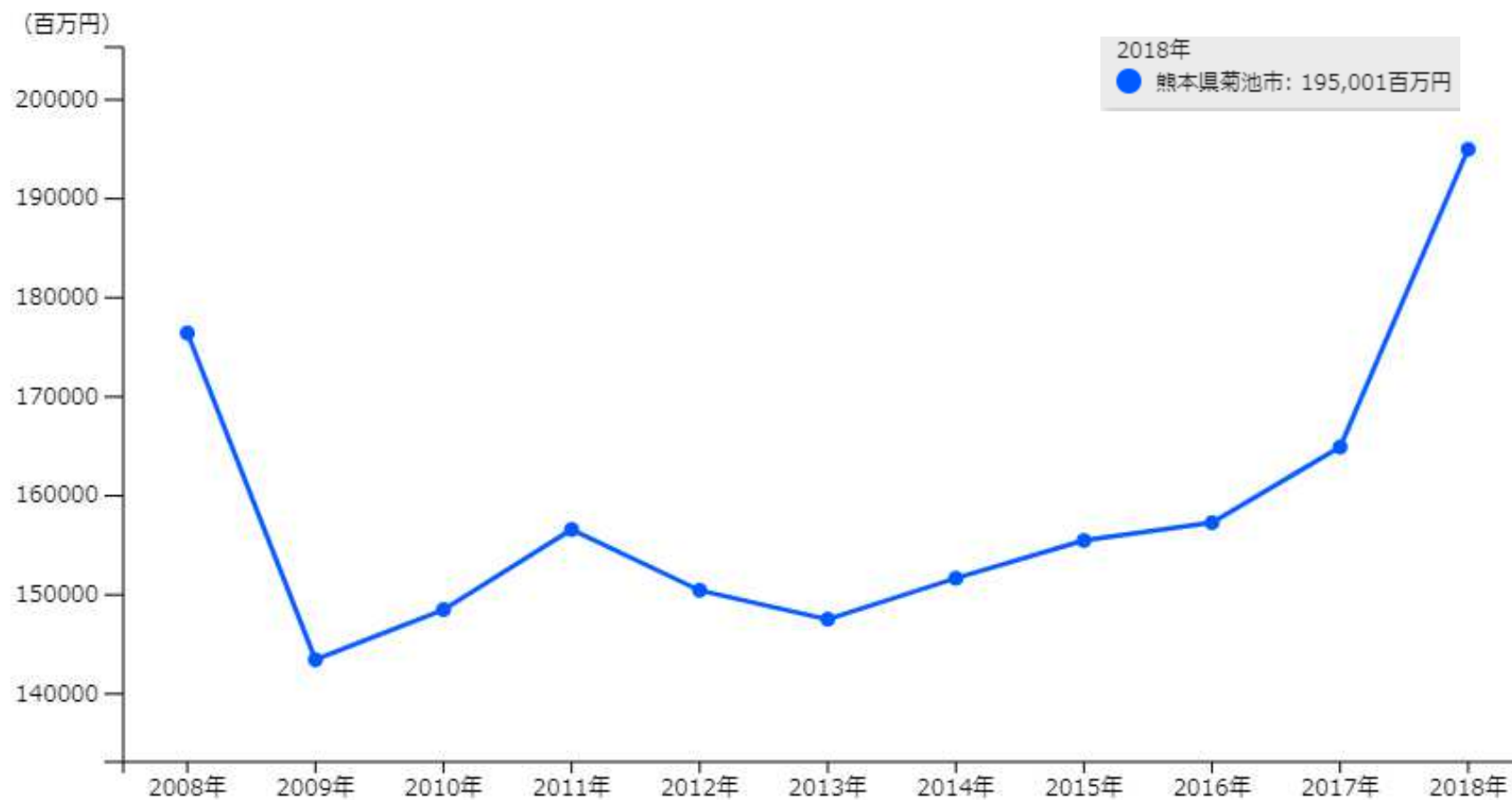
菊池市製造業事業所数推移



2-8 製造業の現状②

- 製造品出荷額はリーマンショックの翌年、2009年に大きく減少しているが、2013年以降回復基調にある。
- 2018年は大きく製造品出荷額が増加。**リーマンショック前の製造品出荷額を上回った。**

製造品出荷額



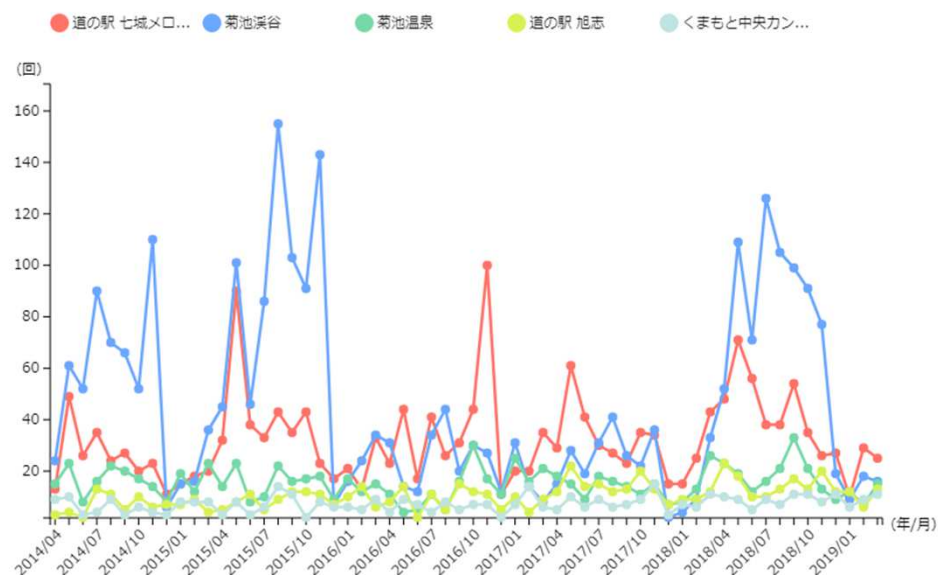
(資料)地域経済分析システム(RESAS)

2-9 観光業の現状①

- 例年8月、11月に「菊池渓谷」、5月、11月に「道の駅 七城メロンドーム」の検索が急増。
- 目的地は「道の駅 七城メロンドーム」「菊池渓谷」「菊池温泉」「道の駅 旭志」の順で多い。

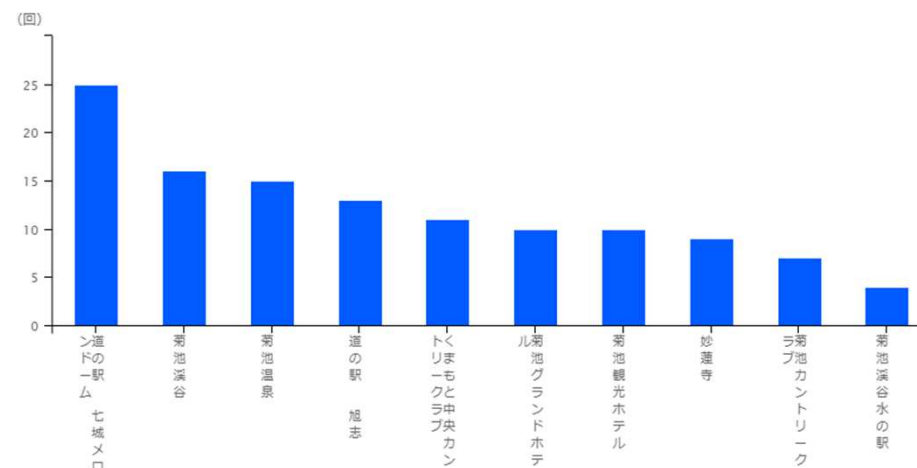
目的地検索ランキング

交通手段:自動車



指定地域の目的地一覧

表示年月:2019年3月(休日)、交通手段:自動車



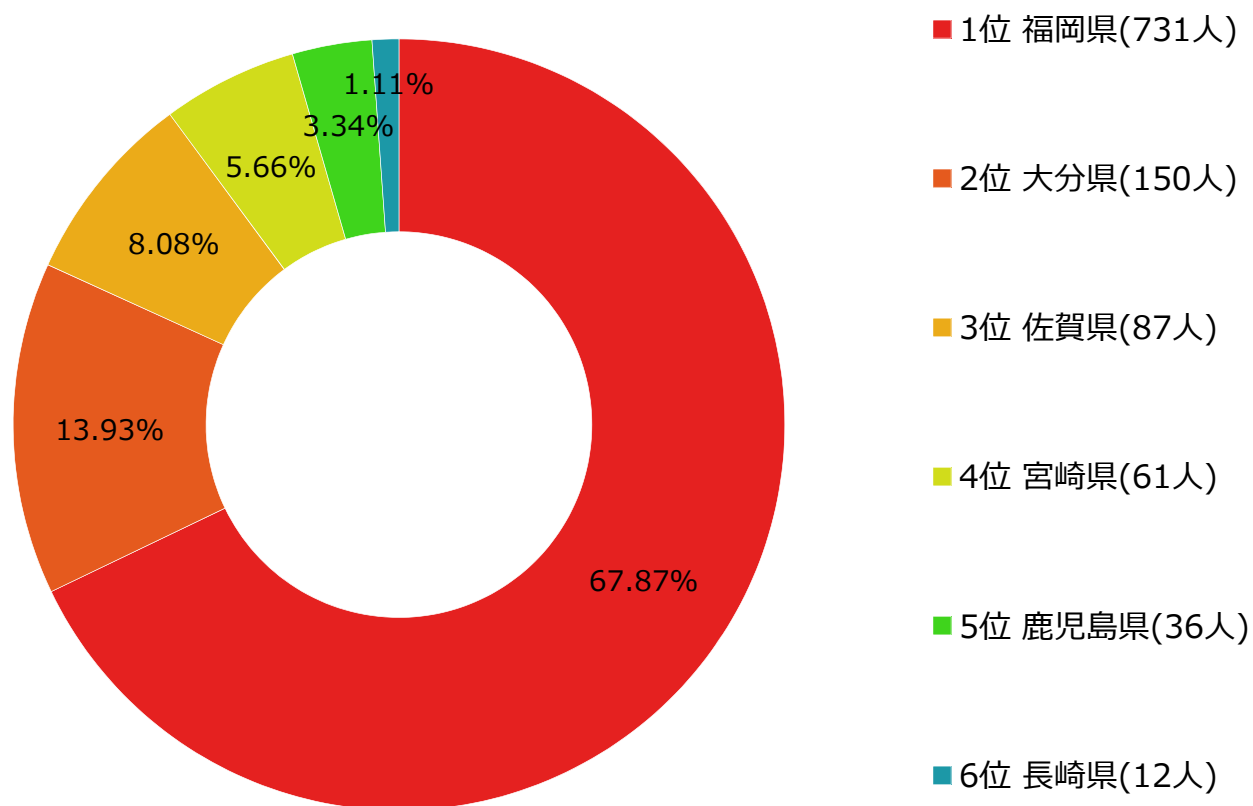
(資料)地域経済分析システム(RESAS)

2-9 観光業の現状②

- 2020年6月休日14時時点での県外の滞在者は「福岡」「大分」「佐賀」の順に多い。
- 九州圏外からの滞在者は無し。コロナ禍の影響によるものと考えられる。

県外居住者の滞在人口の地域別構成

2020年6月休日14時、総数1,077人(15歳以上90歳未満)



(資料)地域経済分析システム(RESAS)

2-9 観光業の現状③

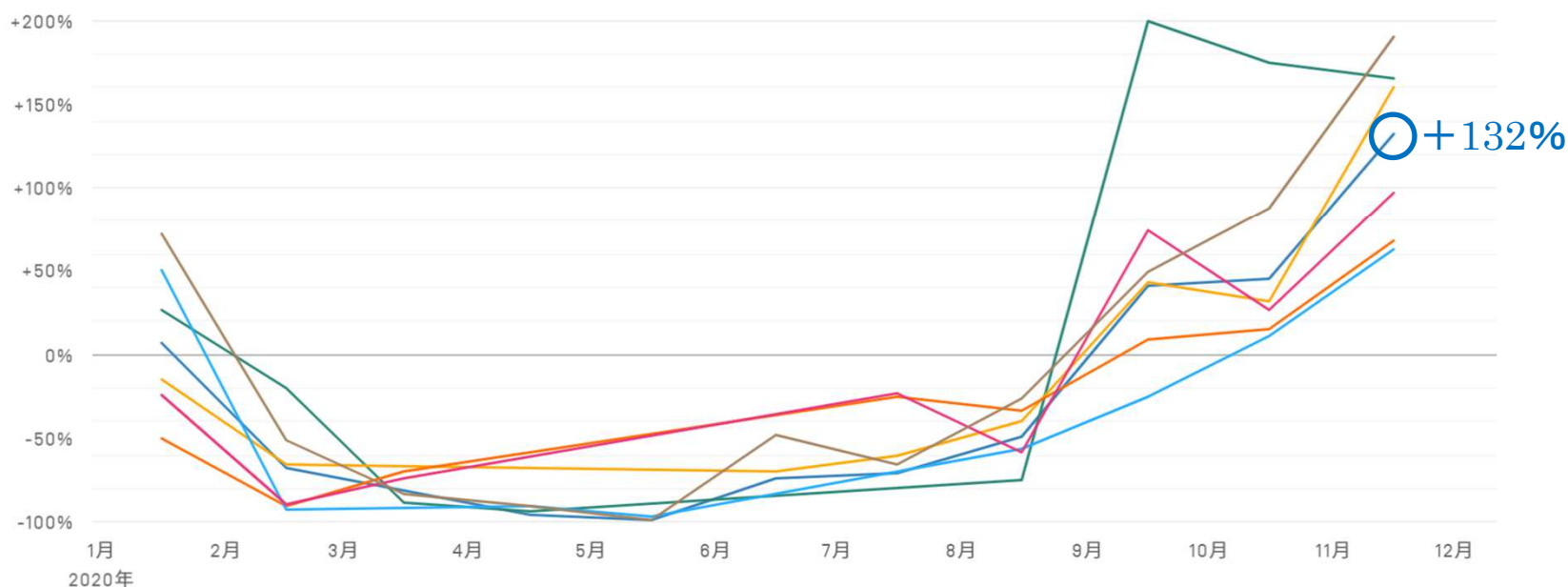
- 新型コロナウイルスの影響により、2020年2月から8月まで菊池地域（菊池市・合志市・大津町・菊陽町）の宿泊者数は激減したが、7月に開始した「Go To トラベルキャンペーン」の効果で9月以降は前年同月比プラスで推移。11月はすべての宿泊者の分類で前年同月比+132%となっている。

宿泊者数の分類の前年同月比の推移 （菊池地域）

表示年月：2020年1月1日～2020年11月30日

宿泊者の分類：

■ すべての宿泊者の分類 ■ 子ども連れ（子ども = 13歳未満） ■ 男女二人（カップル・夫婦） ■ 女性グループ ■ 男性グループ
■ 男女グループ（子ども含む） ■ 一人



（資料）V-RESAS

2-9 観光業の現状④

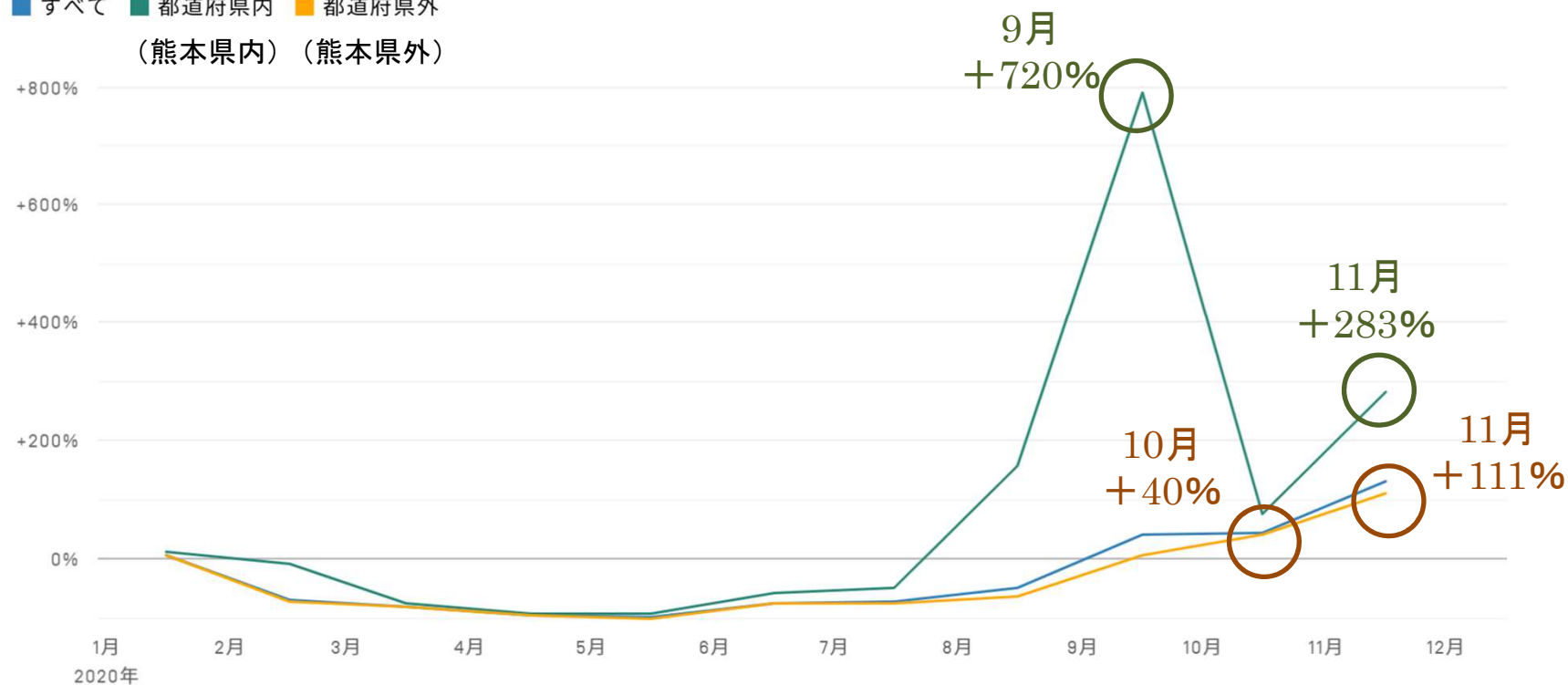
- 特に県内居住者の宿泊者数の伸びは顕著であり、**2020年9月は前年同月比+720%、11月も+283%**となっている。県外居住者の宿泊者数も**10月が前年同月比+40%、11月が+111%**となっている。

予約代表者の居住地ごとの前年同月比の 宿泊者数推移(菊池地域)

表示年月: 2020年1月1日～2020年11月30日

予約代表者の居住地:

■ すべて ■ 都道府県内 ■ 都道府県外
(熊本県内) (熊本県外)



(資料) V-RESAS

以上
